

# VICINO

[ヴィチーノ]

## 組立・取扱説明書

保存版 保証書付

このたびはオカムラ ヴィチーノデスクをお買  
い上げいただき、誠にありがとうございます。  
この組立・取扱説明書をよくお読みになり、  
十分にご理解された上、正しく組立ててご使用い  
ただくようお願いいたします。

このデスクは組替えが可能な製品ですの  
で、組立・取扱説明書は必ず保管してくだ  
さい。

シェルフ&デスク

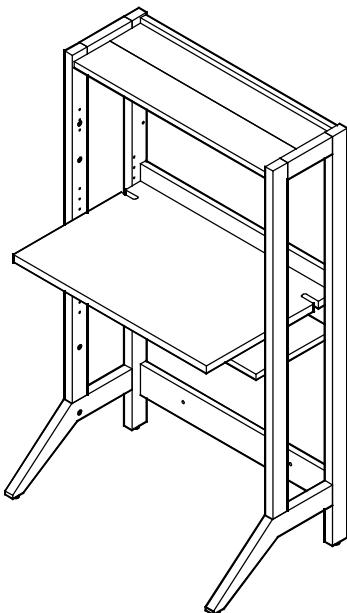
86NBAD

デスクセット(オープンタイプ)

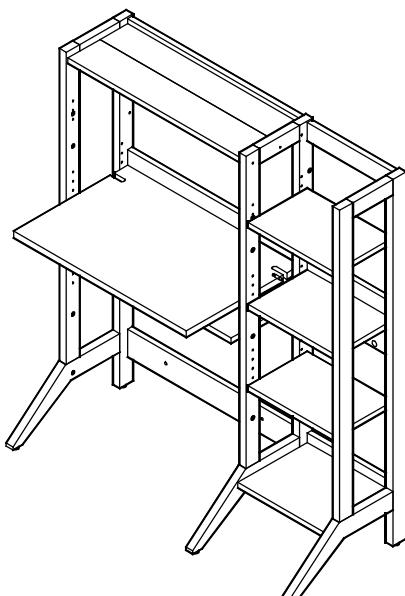
86NBBD

デスクセット(片開きタイプ)

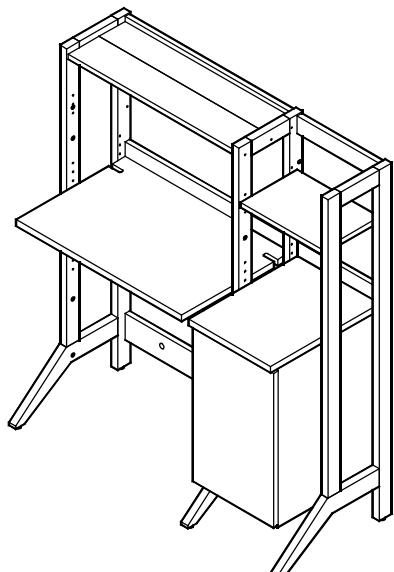
86NBCD



組立方法は  
⇒ P4～P13



組立方法は  
⇒ P14～P27



組立方法は  
⇒ P28～P41

okamura

# 安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

## ⚠ 注意

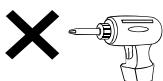
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表します。

## ⚠ 注意

### ⚠ 組立て上のご注意



組立て前に説明書をよくお読みの上、ボルト類はドライバーで確実にしめ、組立て部品は省かずに入れて正しく組立ててください。



組立ての際は、電動ドライバーを使用しないでください。必要以上の力がかかると商品が破損したり、ボルトが外れなくなる恐れがあります。



組立て後は平らな場所で製品の本締めを行い、各部がしっかりと取付けられているか確認してください。



組立てパターンにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。部品紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

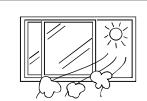
### ⚠ 取扱い上のご注意



製品を乱暴に扱うことや、用途以外での使用はしないでください。製品に体重をかけたり、のることは絶対にしないでください。転倒および破損の原因となり危険です。

天板最大積載質量=20kg（等分布質量）

\*等分布質量とは、天板や棚板に均等に質量をのせる意味です。



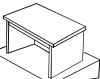
購入当初の製品は接着剤や塗装物質の臭いがあることがあります。しばらくの間は、換気や通気を十分に行い定期的な換気を行ってください。



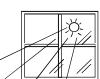
本製品は天然木を使用しています。製品それぞれ異なる表情をしているため、木目や色がカタログ及び見本製品と違った場合があります。

片開き収納の開閉の際、天板面を持った状態で扉を開閉しないで下さい。指を挟む恐れがあります。

### ⚠ 据付け時のご注意



水平で安定した場所を選び設置してください。床が傾斜している場所や不安定な場所で使用すると、転倒や事故の原因となり危険です。



直射日光のある場所、湿度や温度の高い場所、ストーブ・エアコンなどの熱や風が直接当たる場所での使用は、変質・変形・変色の原因となりますので避けてください。



製品の据付け及び移動の時は、必ず二人以上で持ち上げてください。製品を引きずると、床を傷つける場合があります。

湿度の高い場所に設置した場合、カビなどが発生するおそれがあります。定期的に換気をするようにしてください。

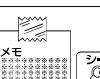
### ⚠ 末永くお使いいただくために



高熱になっているものを直接製品の上に載せないでください。変質・変形・変色の原因となります。



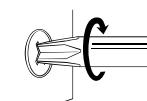
製品の上を濡らしたままにしたり、濡れた布や水滴のついたものなどを放置しないでください。表面材の変形や目割れ・膨張・シミ・腐食の原因となります。濡れた場合は、水分が残らないようすぐにふき取ってください。



製品にはシールやセロテープ等を貼付けないでください。表面材がはがれる原因となります。



硬いもので製品をこすったり、下敷き等を使用せずに先の硬いボールペンなどの筆記具で書きものをしないでください。変形やキズの原因となります。



ボルト類のゆるみと部材の接続部は定期的に点検し、ゆるみなどがあった場合はしっかりと締め直してください。ゆるんだまま使用した場合、変形・破損及び転倒の危険があります。

開梱後、塗装や樹脂は、照明の光を長期に受け続けると、徐々に変色や退色することがあります。

### ⚠ お手入れについて



必ず乾いたやわらかい布で木目に沿ってふいてください。濡れ雑巾を使いますと目割れ、膨張の原因になります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を薄めた中性洗剤溶液で濡らし、硬く絞って良くなれをふき取ってください。その後、洗剤が残らないように乾いたやわらかい布で乾拭きしてください。多量に水分が残ると変形・変色の原因となります。



アルコールやシンナー系の溶剤や化学雑巾、市販のクリーナーは表面を傷めますので絶対に使用しないでください。変色などの原因となります。

### 天然木の特徴

天然木は天然材料のため木目や色も様々で、材料の持つ個性により多少の色の違いが出る場合があります。また、天然木は呼吸をする素材ですので、使用環境により反りやゆがみが出ることもあります。これらの特徴も、天然木は味わいとして楽しむことができ、使えば使うほどその味わいも増していく独特の素材です。※天然木とは、無垢材、ハギ材、集成材、突板などです。

## 主な材質と表面加工

シェルフ＆デスク		
部位	材質	表面加工
天板	天然木化粧繊維板	ウレタン樹脂塗装
脚	天然木	ウレタン樹脂塗装
貫き材	合成樹脂化粧パーティクルボード	アクリル樹脂塗装
棚板	合成樹脂化粧繊維板/合成樹脂化粧パーティクルボード	アクリル樹脂塗装

デスクセット(オープンタイプ)		
部位	材質	表面加工
天板	天然木化粧繊維板	ウレタン樹脂塗装
脚	天然木	ウレタン樹脂塗装
貫き材	合成樹脂化粧パーティクルボード	アクリル樹脂塗装
棚板	合成樹脂化粧繊維板/合成樹脂化粧パーティクルボード	アクリル樹脂塗装

デスクセット(片開きタイプ)		
部位	材質	表面加工
天板	天然木化粧繊維板	ウレタン樹脂塗装
脚	天然木	ウレタン樹脂塗装
貫き材	合成樹脂化粧パーティクルボード	アクリル樹脂塗装
棚板	合成樹脂化粧繊維板/合成樹脂化粧パーティクルボード	アクリル樹脂塗装
扉板	合成樹脂化粧パーティクルボード	ウレタン樹脂塗装
筐体	合成樹脂化粧繊維板/合成樹脂化粧パーティクルボード	アクリル樹脂塗装

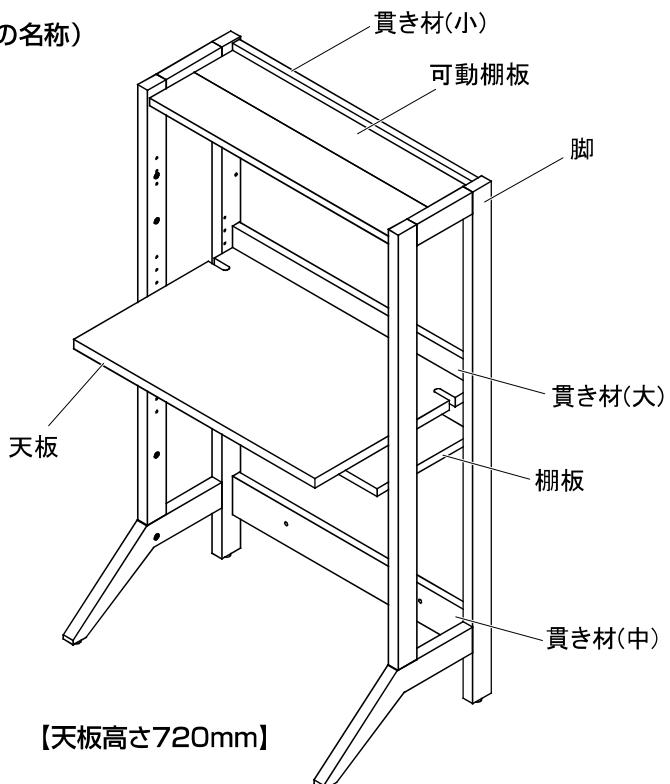
# シェルフ&デスク 86NBAD

組立には+の  
ドライバーが必要です。  
ご用意お願ひします。  
\*電動ドライバーは製品を破損  
する恐れがあるので使わない  
でください。

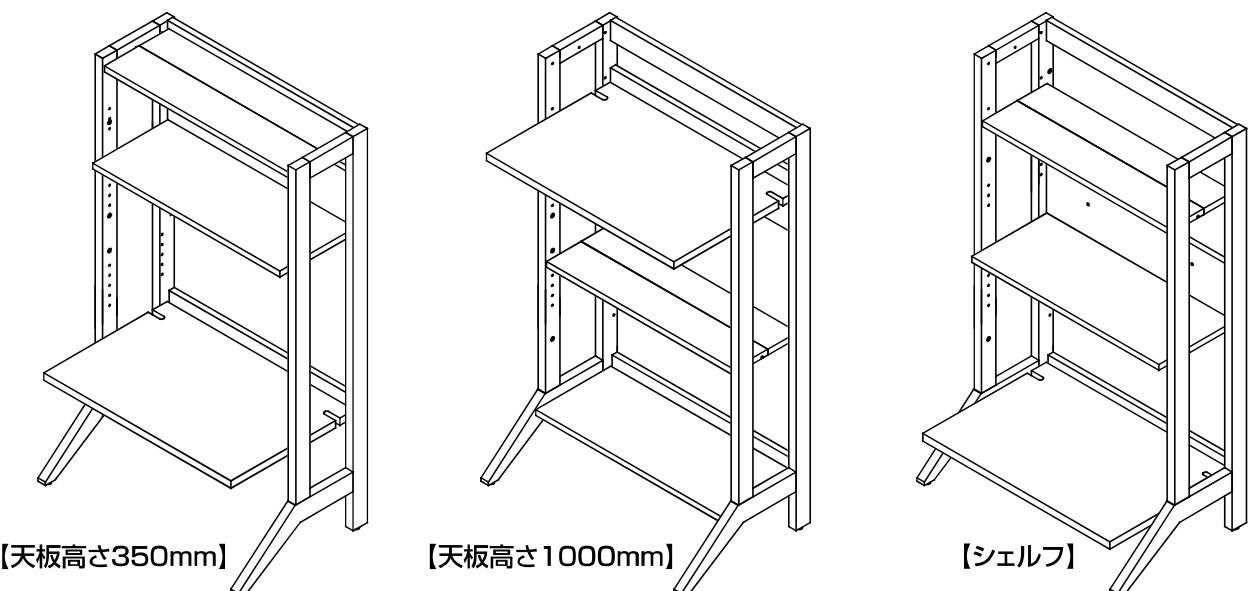


組立ては  
2名以上で  
行って  
ください。

## ■組立完成図 (各部の名称)



## ■デスクの配置例



組立前にご確認ください。

## 表示シールの位置

品質表示シール



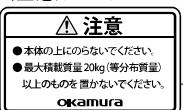
(天板裏面中央に貼付)

製品番号シール



(天板裏面中央に貼付)

注意シール



(天板表面右前に貼付)

製品番号シール



(右脚フレーム下部に貼付)

(表示シールは剥がさないでください)

## 部品明細（組立前に必ずご確認ください。）

ア X 10	片側連結ボルト (24mm)	イ X 4	コネクトボルト (M6×30mm)	実物大	ウ X 4	差し込みダボ (7mm)	工 X 2	穴埋め用キャップ (8mm)
-----------	-------------------	----------	----------------------	-----	----------	-----------------	----------	-------------------



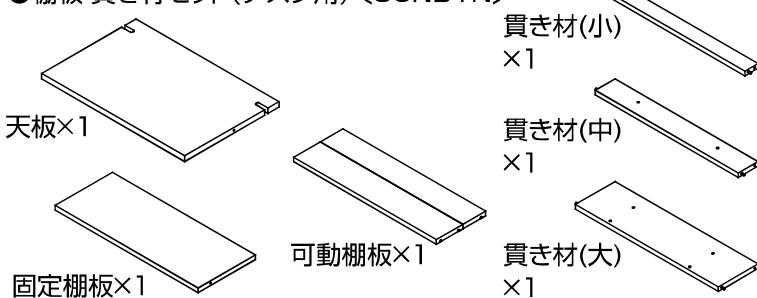
組立には⊕のドライバーをご使用ください。

\* 電動ドライバー、電動工具は製品を傷つけたり破損する恐れがありますので、手回しのドライバーを使用してください。

●脚セット [86NB2K]



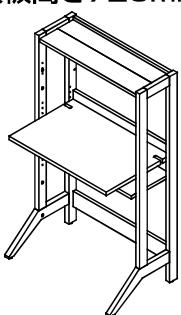
●棚板・貫き材セット(デスク用) [86NB1N]



## 組み立てるタイプを確認してください

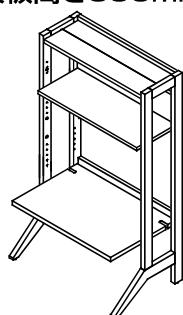
※以下のの中から組み立てたいタイプを選択し、各組立方法の頁に進んでください。

【天板高さ720mm】



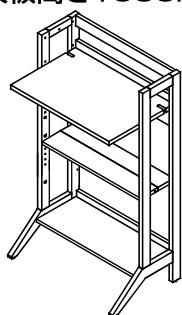
P6に進んでください。

【天板高さ350mm】



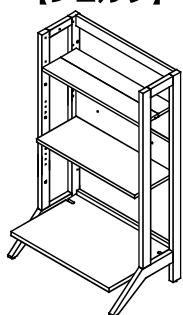
P8に進んでください。

【天板高さ1000mm】



P10に進んでください。

【シェルフ】



P12に進んでください。

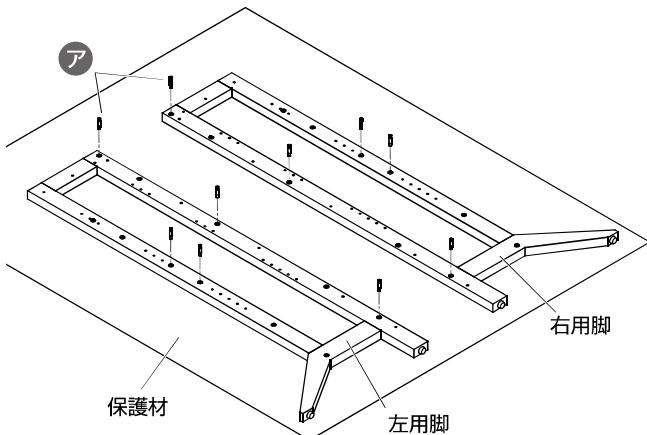
# 天板高さ720mmの組立

720H

## 1 片側連結ボルトの取付け

※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①鬼目ナットが上を向くように左右の脚を置き、アの片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所づつ脚の図の位置に取付けてください。



### Point [連結ボルトについて]

連結ボルトを鬼目ナットにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。

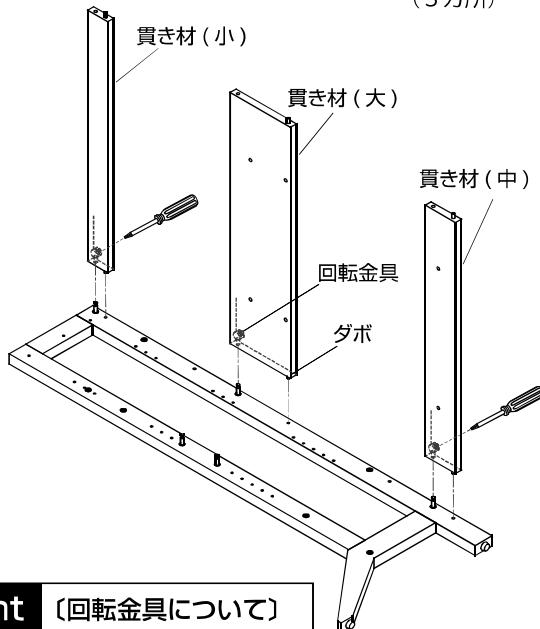


720H

## 2 片側の脚への貫き材の取付け

- ①片側の脚に回転金具が後方を向くように貫き材を図の位置に取差込み、回転金具を右へ回し固定してください。

(3カ所)

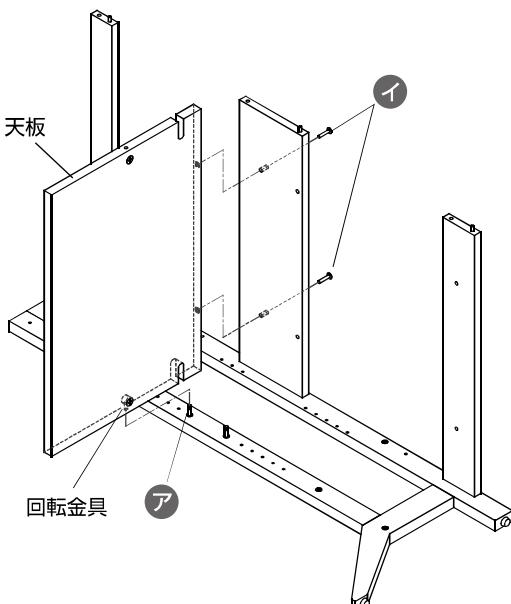


### Point [回転金具について]

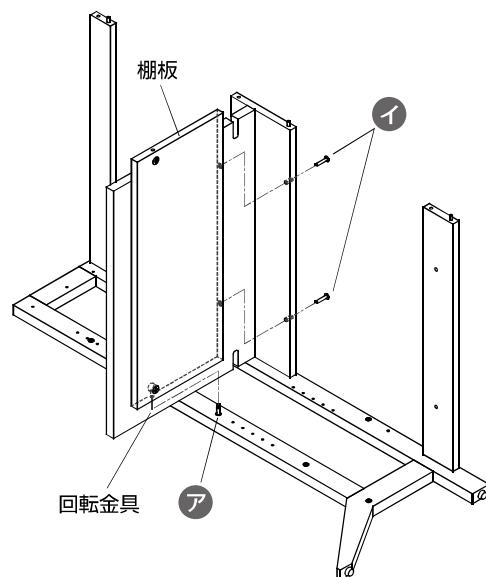
回転金具 (部材に埋め込まれています)  
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。矢印  
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り(外れ)ます。



- ②天板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方よりイのコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



- ③棚板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方よりイのコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



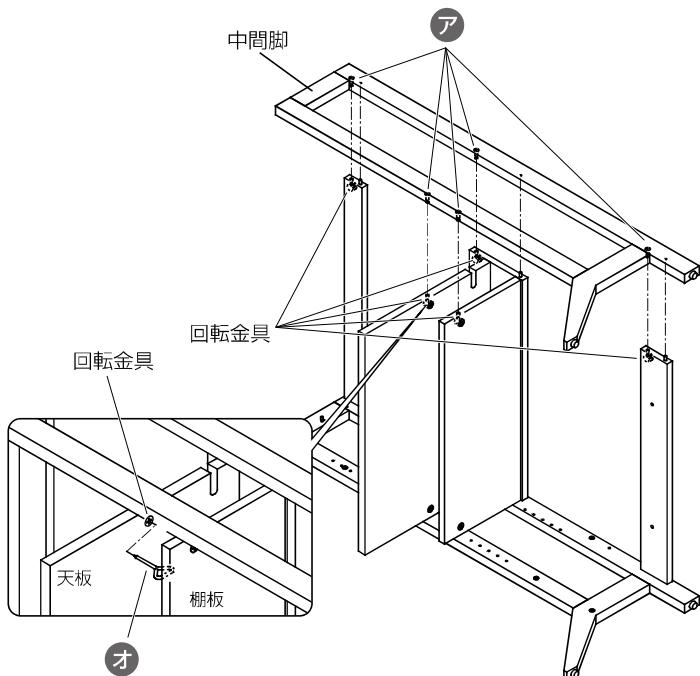
# 天板高さ720mmの組立

720H

3

## 反対の脚の取付け

- ①反対の脚のⒶの片側連結ボルトを貫き材、天板、棚板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を回し固定してください。（5カ所）  
※天板の回転金具を回す際は、間が狭いのでⒷのドライバーをご使用ください。

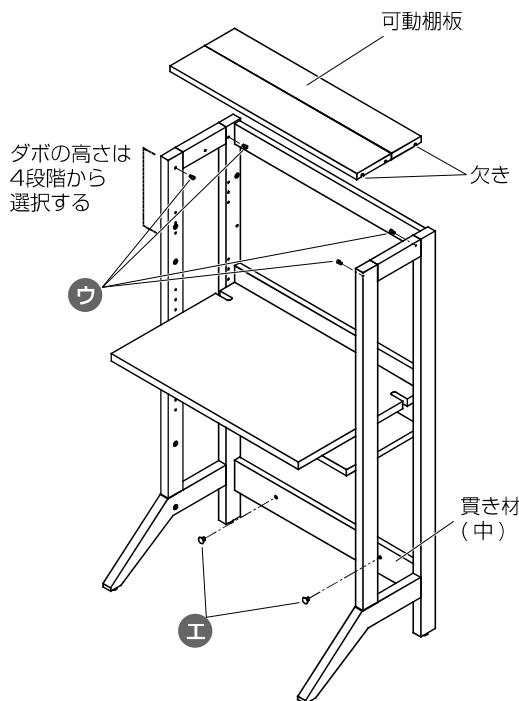


720H

4

## 可動棚板の取付け

- ①脚の内々の図の位置の高さのダボ穴にⒹのダボ(4個)差込みその上に棚板の欠きを合わせるように設置してください。  
②一番下の貫き材(中)の穴に、Ⓔの穴埋め用キャップを2ヶ所取付けてください。



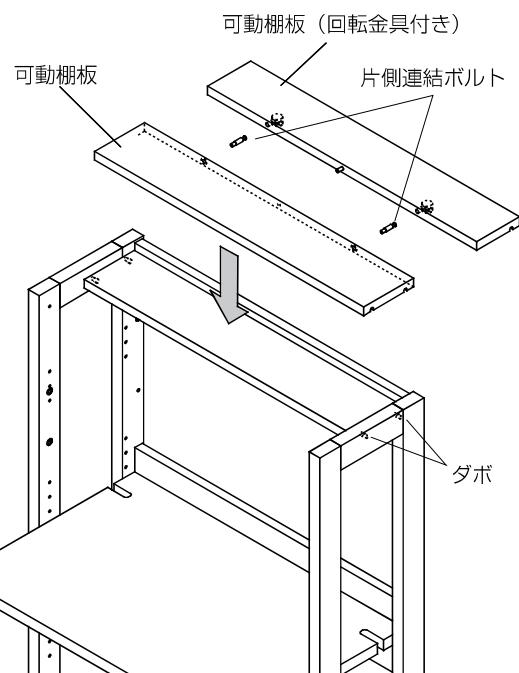
720H

5

## 可動棚板の分割

ご使用状態に合わせ可動棚板を分割してご使用できます。

- ①回転金具を左へ回し、可動棚板を分割してください。  
②片側連結ボルトを外してください。  
③手前側のダボ位置を図の位置に取付けてください。  
※分割された可動棚板は最上段の位置にのみ取付けてください。  
④回転金具が付いていない方の可動棚板をセットしてご使用ください。  
※もう一枚の棚板及び片側連結ボルトは大切に保管してください。



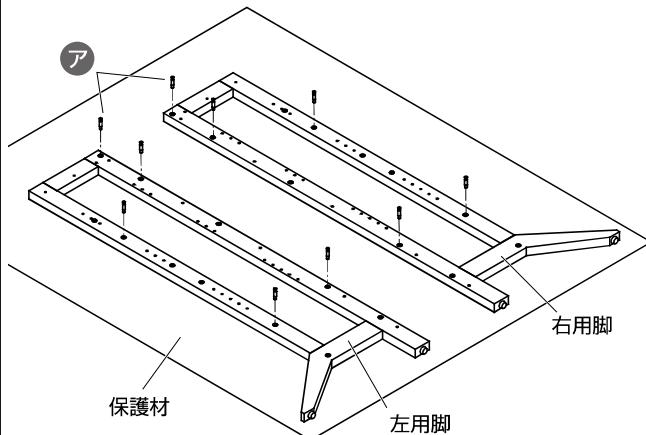
# 天板高さ350mmの組立

350H

## 1 片側連結ボルトの取付け

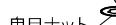
※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①鬼目ナットが上を向くように左右の脚を置き、Ⓐの片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所づつ脚の図の位置に取付けてください



### Point [連結ボルトについて]

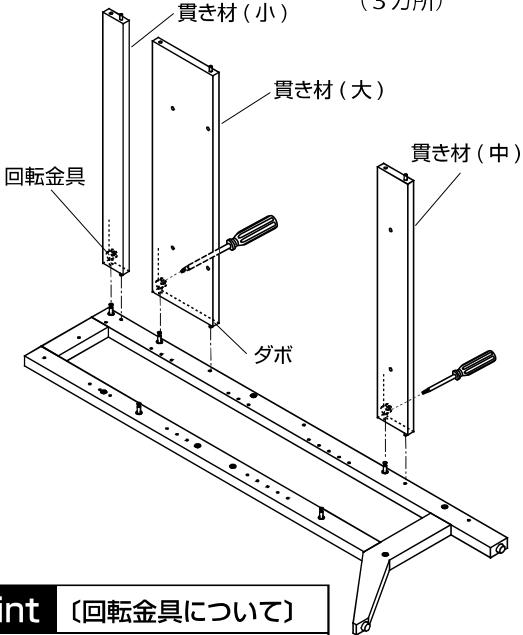
連結ボルトを鬼目ナット片側連結ボルトにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。



350H

## 2 片側の脚への貫き材の取付け

- ①片側の脚に回転金具が後方を向くように貫き材を図の位置に差込み、回転金具を回し固定してください。(3カ所)

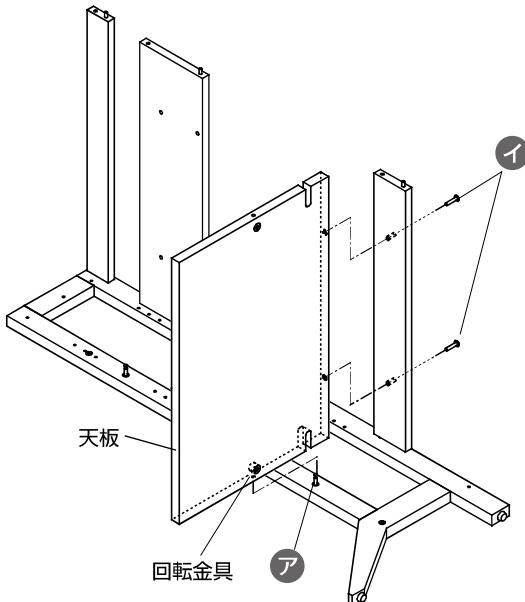


### Point [回転金具について]

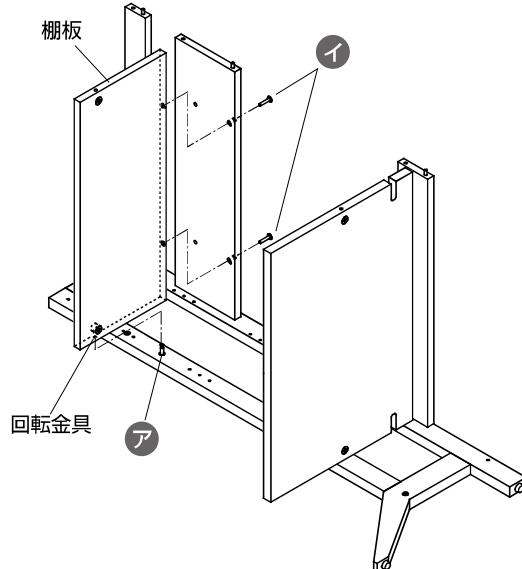
回転金具  
(部材に埋め込まれています)  
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。矢印  
矢印を連結ボルトの方に  
合わせると、連結ボルト  
が入り(外れ)ます。



- ②天板をⒷの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(中)の後方より①のコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



- ③棚板をⒶの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方より①のコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



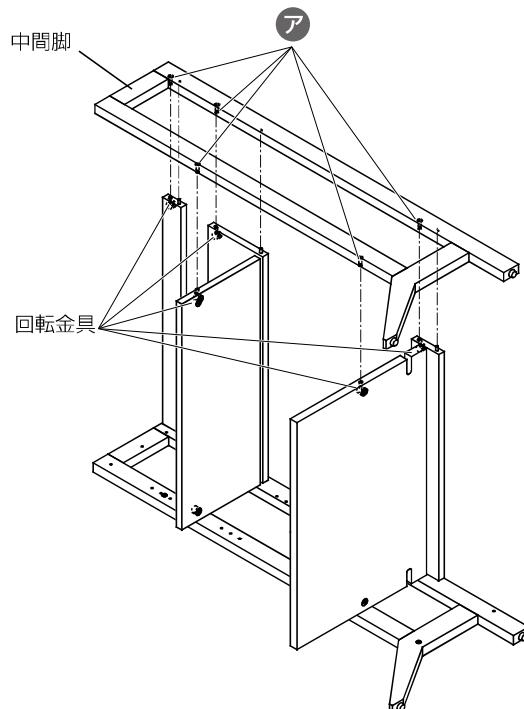
## 天板高さ350mmの組立

350H

**3**

### 反対の脚の取付け

- ①反対の脚のⒶの片側連結ボルトを貫き材、天板、棚板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を回し固定してください。(5カ所)

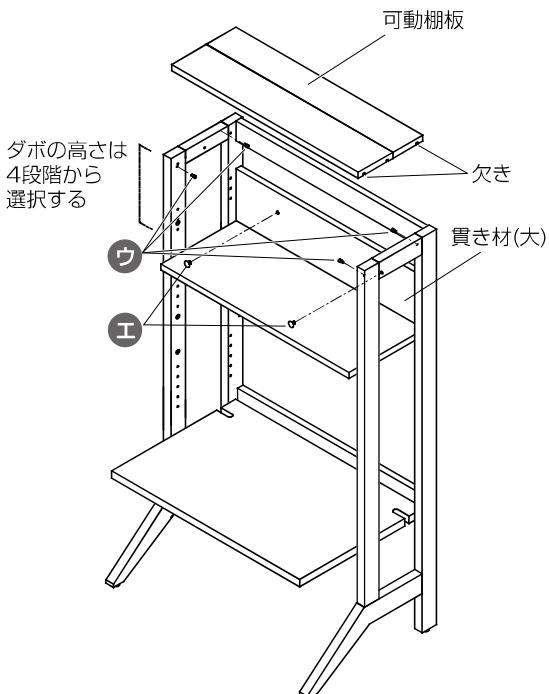


350H

**4**

### 可動棚板の取付け

- ①脚の内々の任意の図の位置の高さのダボ穴にⒷのダボ(4個)差込みその上に棚板の欠きを合わせるように設置してください。
- ②図の位置の貫き材(大)の穴に、Ⅰの穴埋め用キャップを2ヶ所取付けてください。



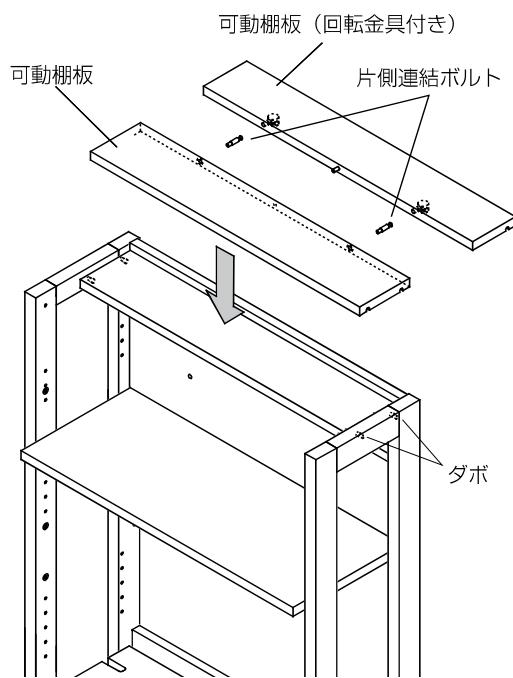
350H

**5**

### 可動棚板の分割

ご使用状態に合わせ可動棚板を分割してご使用できます。

- ①回転金具を左へ回し、可動棚板を分割してください。
- ②片側連結ボルトを外してください。
- ③手前側のダボ位置を図の位置に取付けてください。  
※分割された可動棚板は最上段の位置にのみ取付けてください。
- ④回転金具が付いていない方の可動棚板をセットしてご使用ください。  
※もう一枚の棚板及び片側連結ボルトは大切に保管してください。



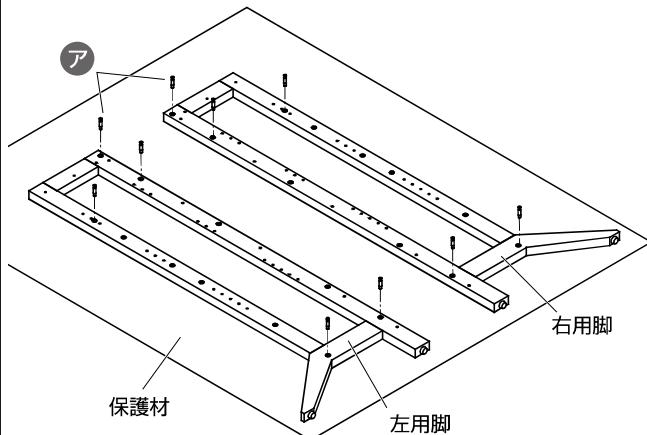
# 天板高さ1000mmの組立

1000H

## 1 片側連結ボルトの取付け

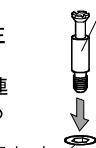
※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①鬼目ナットが上を向くように左右の脚を置き、Ⓐの片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所づつ脚の図の位置に取付けてください



### Point 【連結ボルトについて】

連結ボルトを鬼目ナットにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。



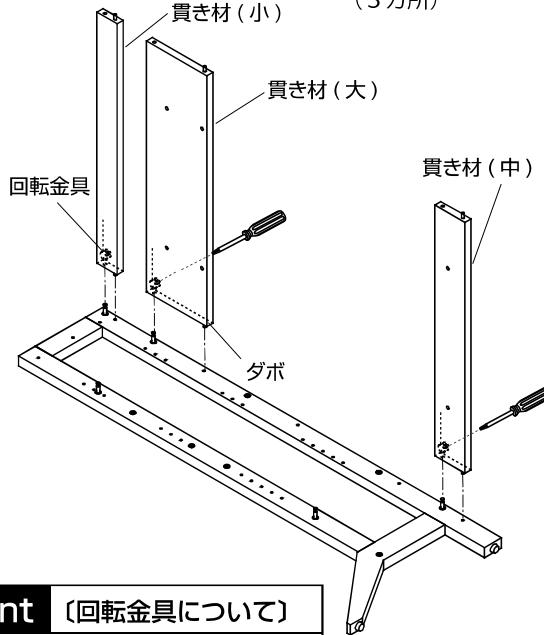
鬼目ナット

1000H

## 2 片側の脚への貫き材の取付け

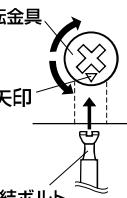
- ①片側の脚に回転金具が後方を向くように貫き材を図の位置に差込み、回転金具を回し固定してください。

(3カ所)



### Point 【回転金具について】

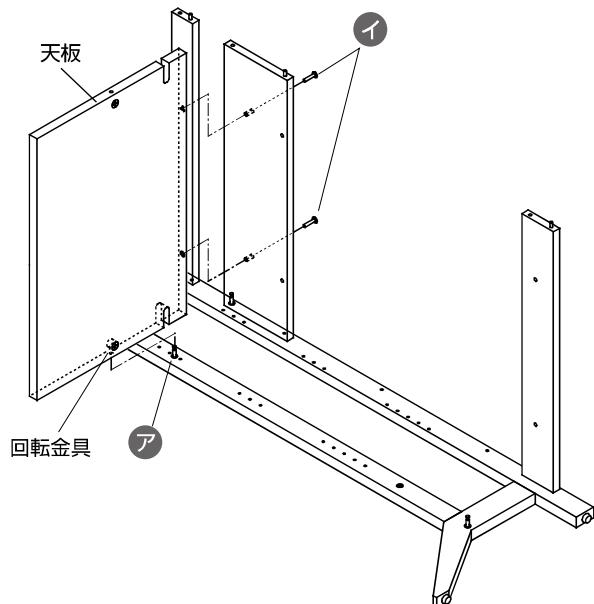
回転金具  
(部材に埋め込まれています)



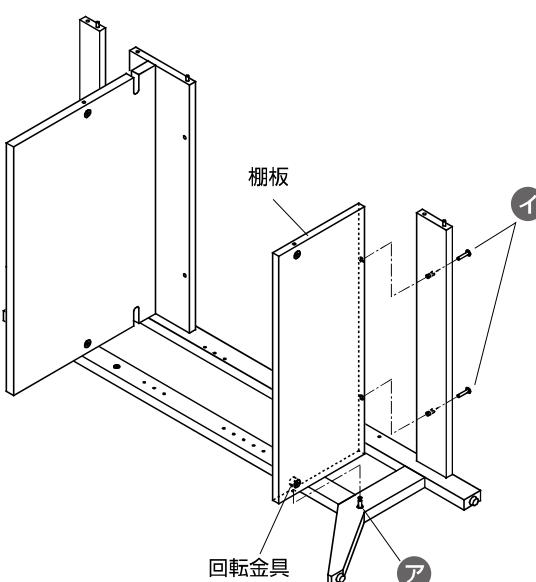
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。  
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り(外れ)ます。

片側連結ボルト

- ②天板をⒶの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方より①のコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



- ③棚板をⒶの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(中)の後方より①のコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



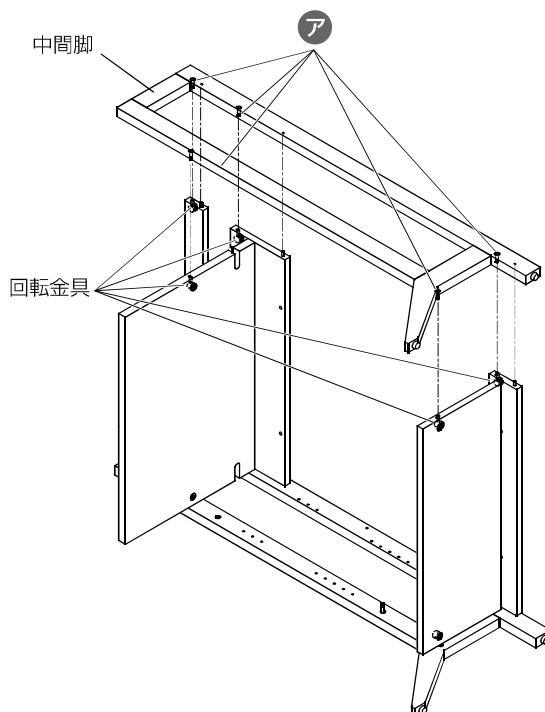
## 天板高さ1000mmの組立

1000H

3

### 反対の脚の取付け

- ①反対の脚のⒶの片側連結ボルトを貫き材、天板、棚板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を回し固定してください。(5力所)



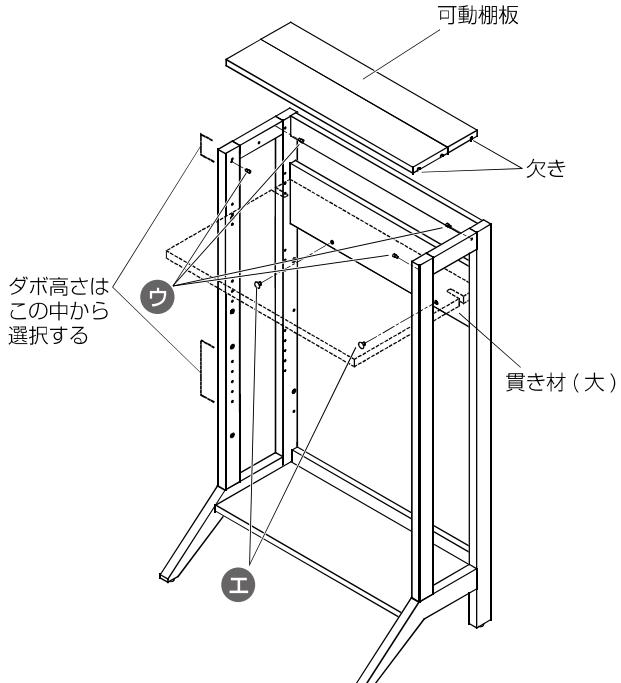
1000H

4

### 可動棚板の取付け

- ①脚の内々の任意の高さのダボ穴にⒷのダボ(4個)差込みその上に棚板の欠きを合わせるように設置してください。

- ②図の位置の貫き材(大)の穴に、Ⓔの穴埋め用キャップを2ヶ所取付けてください。



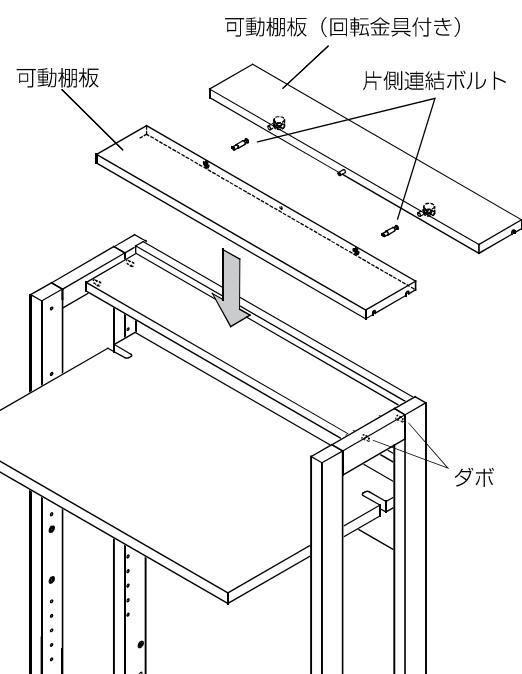
1000H

5

### 可動棚板の分割

ご使用状態に合わせ可動棚板を分割してご使用できます。

- ①回転金具を左へ回し、可動棚板を分割してください。  
②片側連結ボルトを外してください。  
③手前側のダボ位置を図の位置に取付けてください。  
※分割された可動棚板は最上段の位置にのみ取付けてください。  
④回転金具が付いていない方の可動棚板をセットしてご使用ください。  
※もう一枚の棚板及び片側連結ボルトは大切に保管してください。



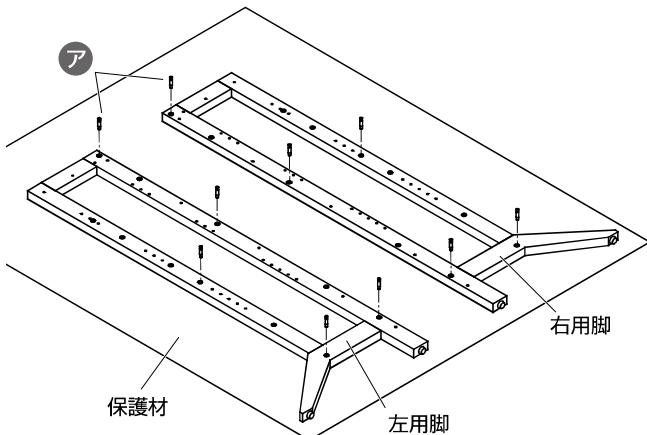
# シェルフの組立

シェルフ

## 1 片側連結ボルトの取付け

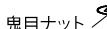
※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①鬼目ナットが上を向くように左右の脚を置き、Ⓐの片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所づつ脚の図の位置に取付けてください



### Point [連結ボルトについて]

連結ボルトを鬼目ナットにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。



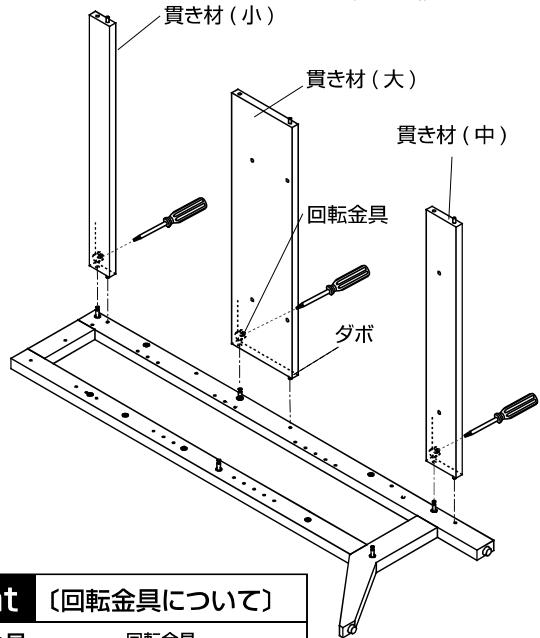
片側連結ボルト

シェルフ

## 2 片側の脚への貫き材の取付け

- ①片側の脚に回転金具が後方を向くように貫き材を図の位置に差込み、回転金具を回し固定してください。

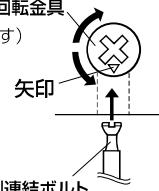
(3カ所)



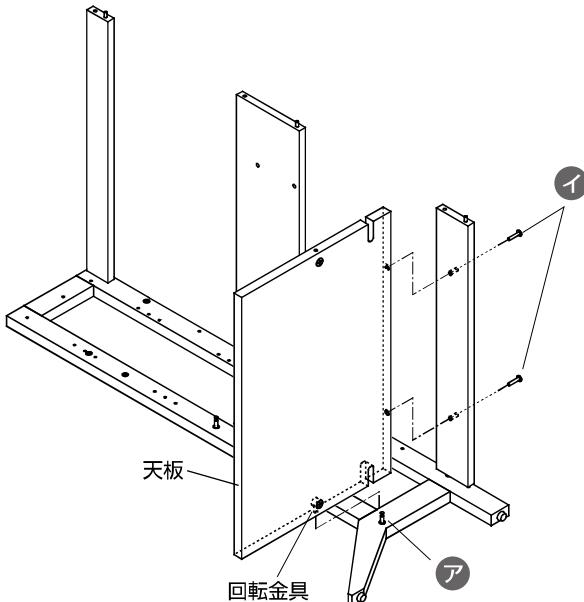
### Point [回転金具について]

回転金具  
(部材に埋め込まれています)

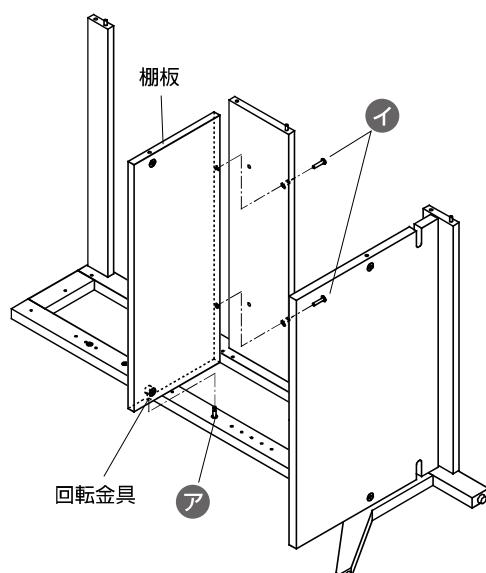
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。  
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り(外れ)ます。



- ②天板をⒶの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(中)の後方より①のコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



- ③棚板をⒶの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方より①のコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



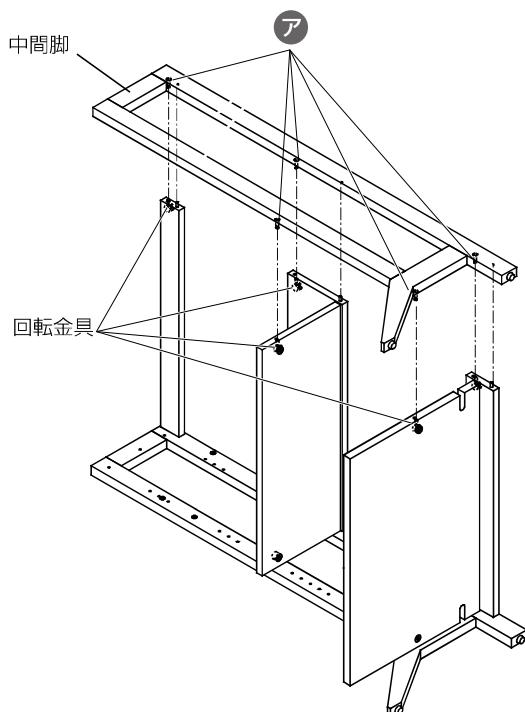
# シェルフの組立

シェルフ

3

## 反対の脚の取付け

- ①反対の脚のⒶの片側連結ボルトを貫き材、天板、棚板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を回し固定してください。(5カ所)



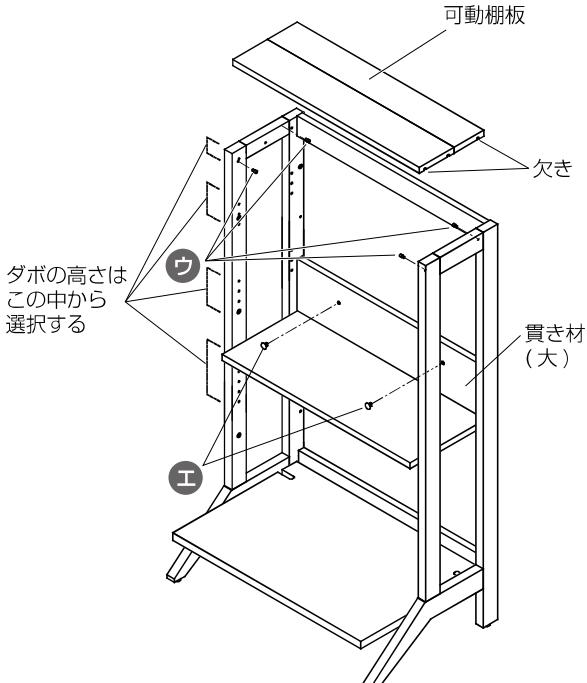
シェルフ

4

## 可動棚板の取付け

- ①脚の内々の任意の高さのダボ穴にⒷのダボ(4個)差込み  
その上に棚板の欠きを合わせるように設置してください。

- ②図の位置の貫き材(大)の穴に、Ⓔの穴埋め用キャップを  
2ヶ所取付けてください。



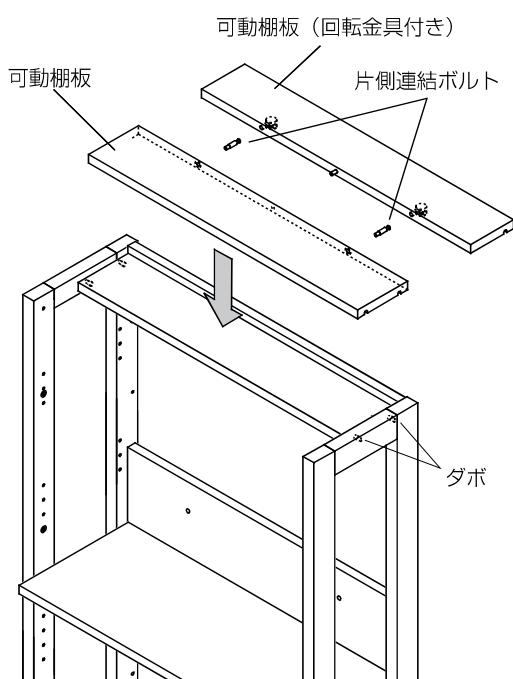
シェルフ

5

## 可動棚板の分割

ご使用状態に合わせ可動棚板を分割してご使用できます。

- ①回転金具を左へ回し、可動棚板を分割してください。  
②片側連結ボルトを外してください。  
③手前側のダボ位置を図の位置に取付けてください。  
※分割された可動棚板は最上段の位置にのみ取付けてください。  
④回転金具が付いていない方の可動棚板をセットしてご使用ください。  
※もう一枚の棚板及び片側連結ボルトは大切に保管してください。



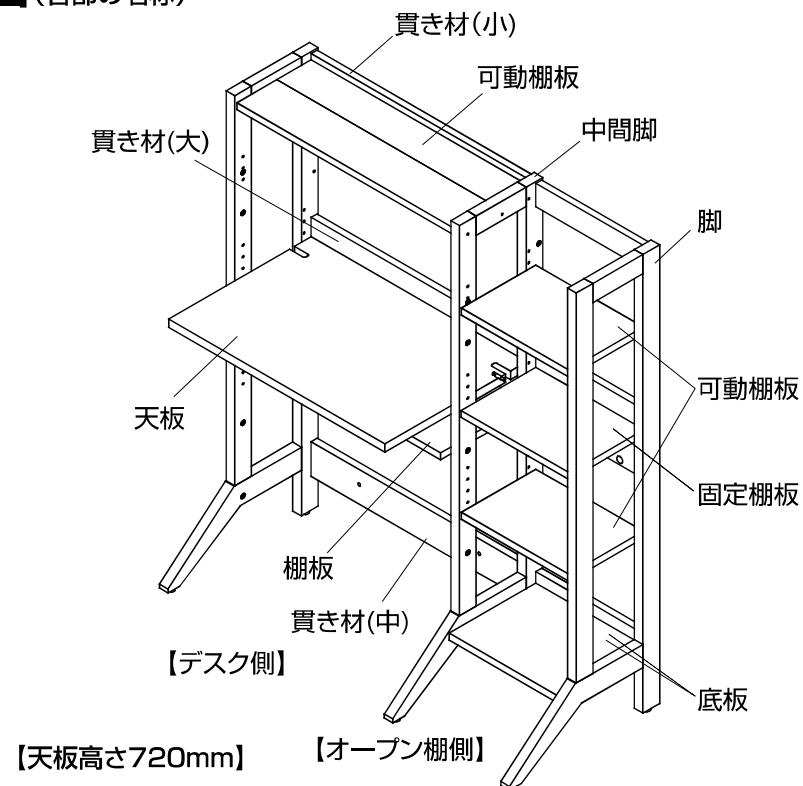
# デスクセット(オープンタイプ) 86NBB

組立には+の  
ドライバーが必要です。  
ご用意お願いします。  
\*電動ドライバーは製品を破損  
する恐れがあるので使わない  
でください。

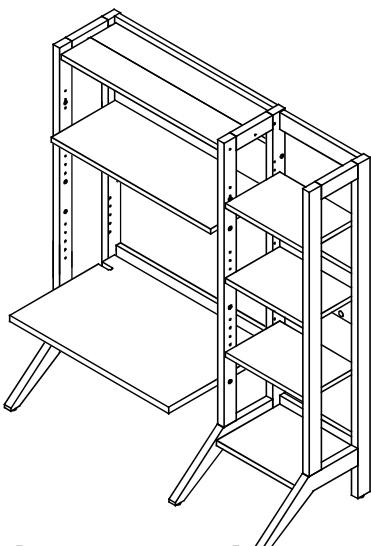


組立ては  
2名以上で  
行って  
ください。

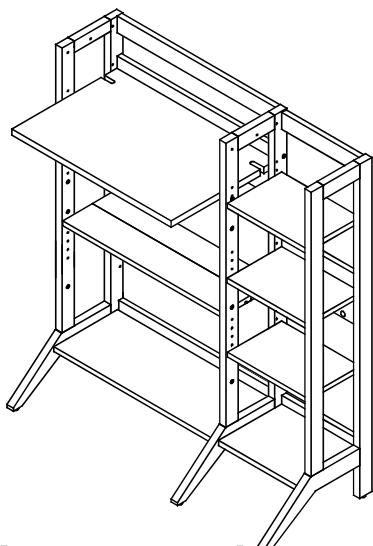
## ■組立完成図 (各部の名称)



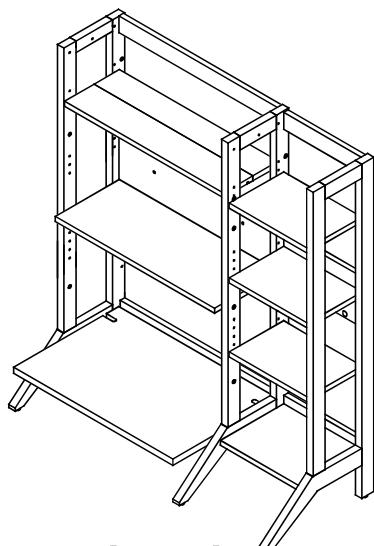
## ■デスクの配置例



【天板高さ350mm】



【天板高さ1000mm】



【シェルフ】

組立前にご確認ください。

## 表示シールの位置

品質表示シール



(天板裏面中央に貼付)

製品番号シール



(天板裏面中央に貼付)

注意シール



(天板表面右前に貼付)

製品番号シール



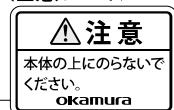
(脚フレーム下部に貼付)

製品番号シール



(固定棚板裏面中央に貼付)

注意シール



(固定棚表面右前に貼付)

(表示シールは剥がさないでください)

## 部品明細(組立前に必ずご確認ください。)

※部品の数量は各梱包付属数の合計の数です。

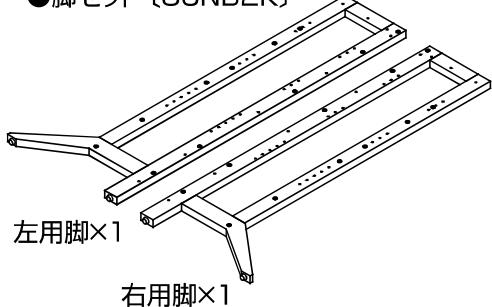
	片側連結ボルト (24mm) X 20		コネクトボルト (M6×30mm) X 8		実物大 X 12		差し込みダボ (7mm) X 4		穴埋め用キャップ (8mm) X 4
--	---------------------------	--	-----------------------------	--	-------------	--	------------------------	--	--------------------------



組立には+のドライバーをご使用ください。

\* 電動ドライバー、電動工具は製品を傷つけたり破損する恐れがありますので、手回しのドライバーを使用してください。

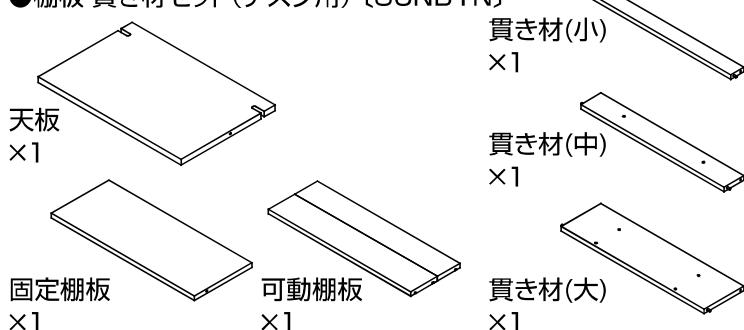
### ●脚セット [86NB2K]



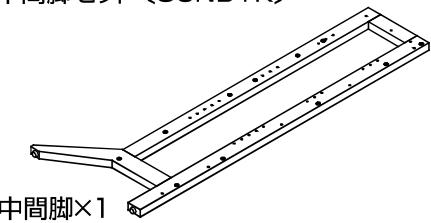
左用脚X1

右用脚X1

### ●棚板・貫き材セット(デスク用) [86NB1N]

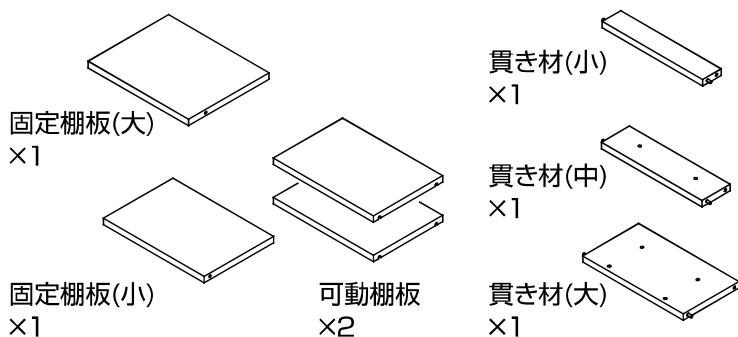


### ●中間脚セット [86NB1K]



※中間脚には裏表にオニ目ナットが埋め込まれています。

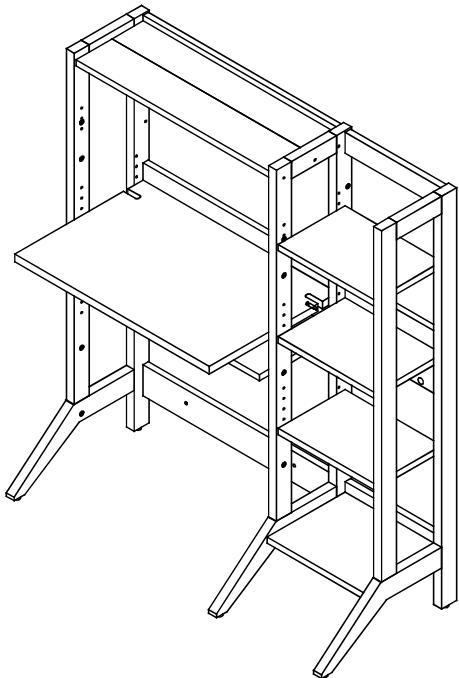
### ●棚板・貫き材セット(オープンラック用) [86NB2N]



## 組立てるタイプを確認してください

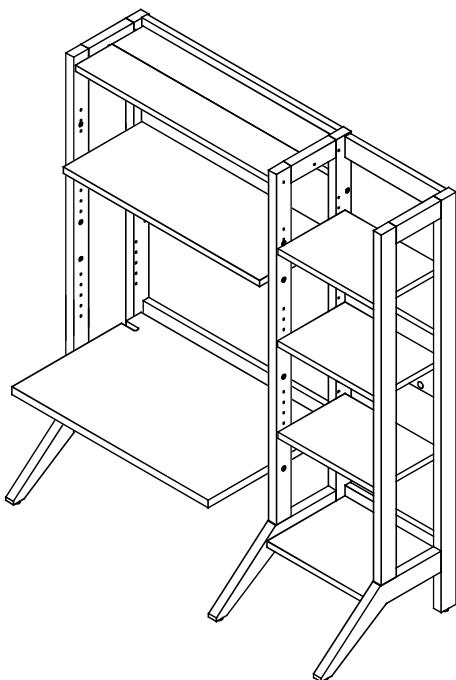
※以下のの中から組立てたいタイプを選択し、各組立方法の頁に進んでください。

【天板高さ720mm】



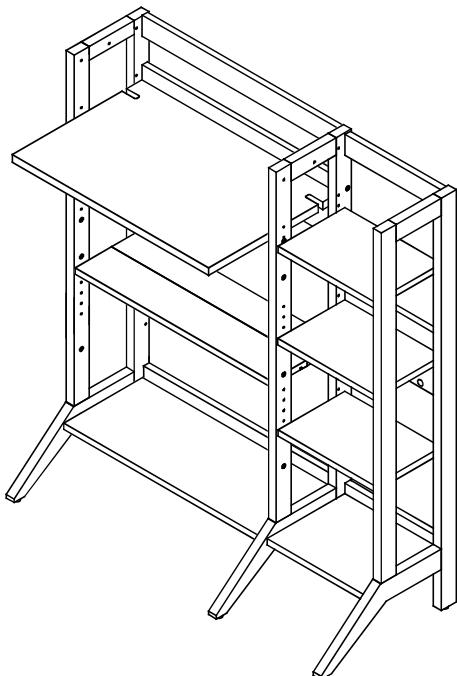
P18、P19→P26、P27の順に進んでください。

【天板高さ350mm】



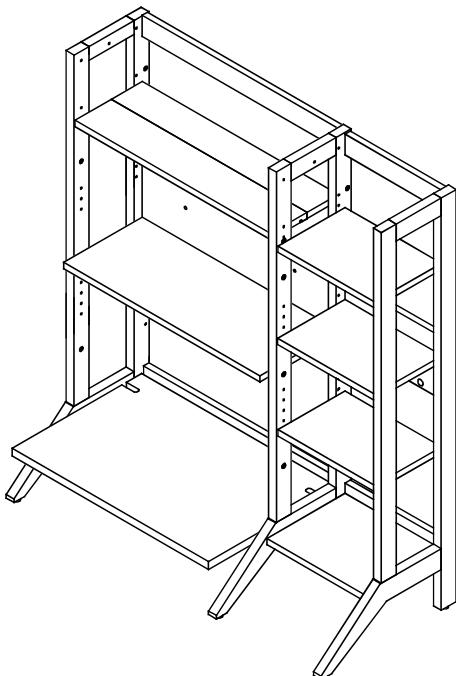
P20、P21→P26、P27の順に進んでください。

【天板高さ1000mm】



P22、P23→P26、P27の順に進んでください。

【シェルフ】



P24、P25→P26、P27の順に進んでください。

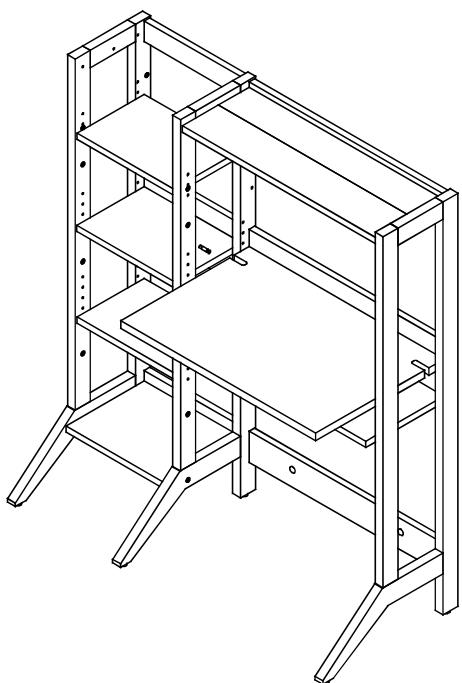
## オープン棚を取付ける向きを確認してください

\*オープン棚は左右どちらにも取付可能です。部屋への設置位置に合わせお選びください。

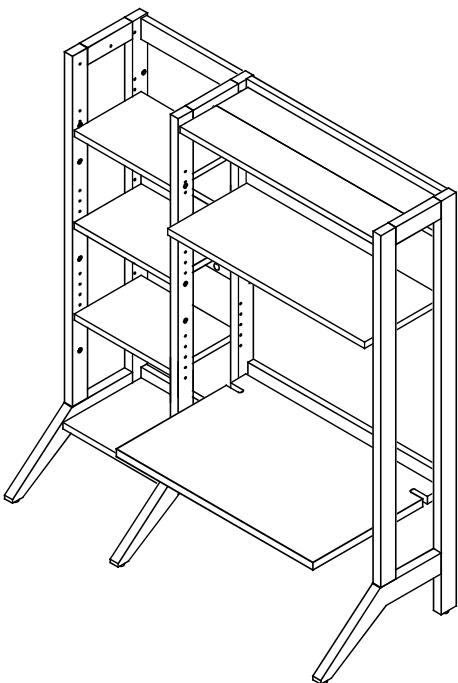
本組立手順は、オープン棚を右側に組立てる内容になっています。

オープン棚を左側にする場合は、デスク用の天板や貫き材とオープン棚用の棚板や貫き材を、左右逆に取付けます。

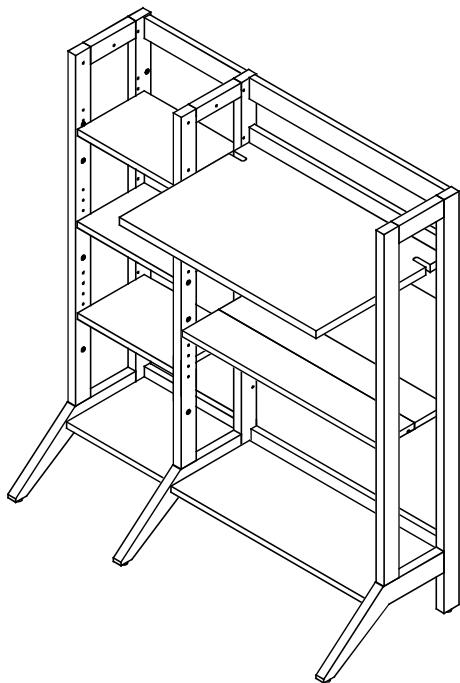
【天板高さ720mm(左オープン棚)】



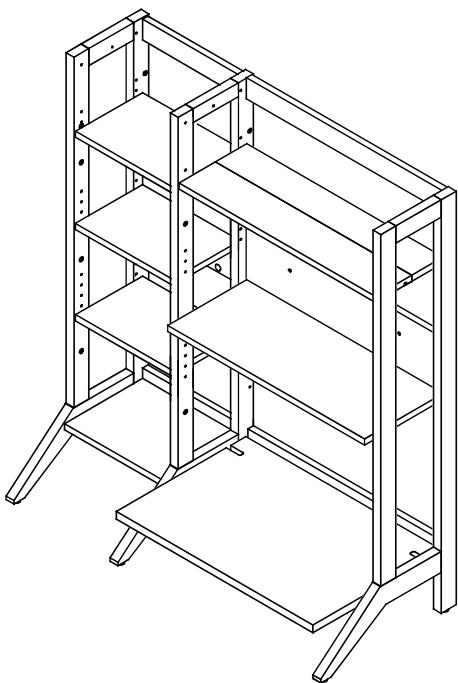
【天板高さ350mm(左オープン棚)】



【天板高さ1000mm(左オープン棚)】



【シェルフ(左オープン棚)】



# 天板高さ720mmの組立

720H

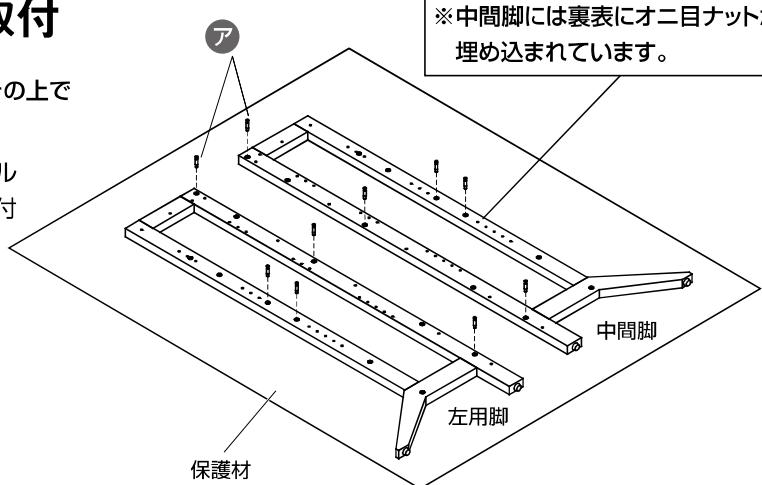
## 1 片側連結ボルトの取付

※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①左右の脚を図のように置き、アの片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所づつ脚の図の位置に取付けてください。

### Point [連結ボルトについて]

連結ボルトを鬼目ナット  
トにねじ込む時は、締  
め込みすぎないよう注  
意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連  
結ボルトの頭が破損する  
恐れがあります。 鬼目ナット



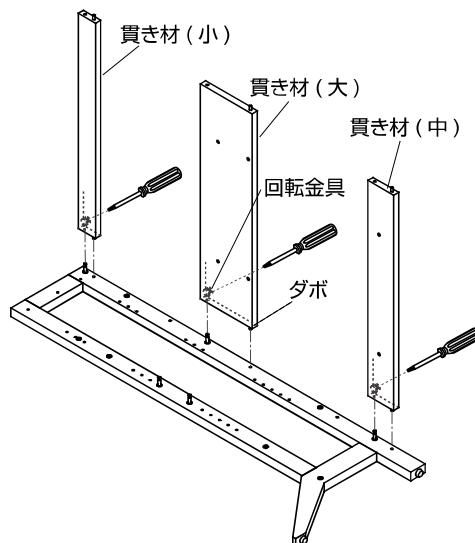
720H

## 2 片側の脚への貫き材の取付

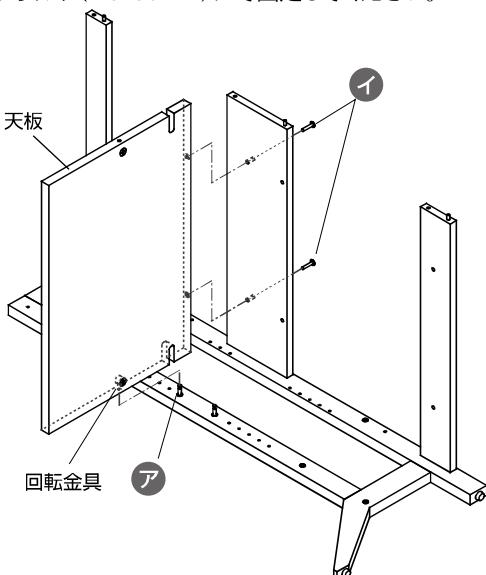
- ①片側の脚に回転金具が後方を向くように貫き材を図の位置に取差込み、回転金具を回し固定してください。

### Point [回転金具について]

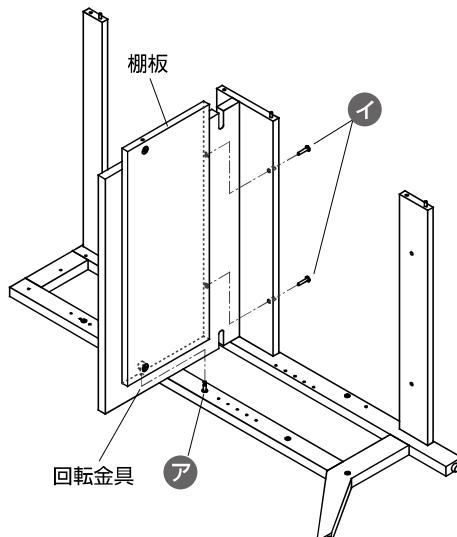
回転金具  
(部材に埋め込まれています)  
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。 矢印  
矢印を連結ボルトの方に  
合わせると、連結ボルト  
が入り(外れ)ます。  
片側連結ボルト



- ②天板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転  
金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方よりイのコ  
ネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



- ③棚板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転  
金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方よりイのコ  
ネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



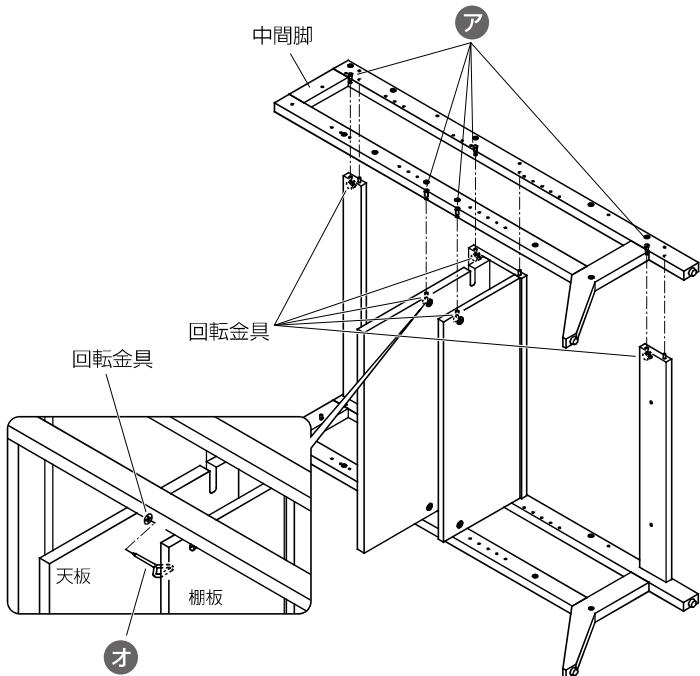
## 天板高さ720mmの組立

720H

3

### 中間脚の取付け

- ① ①で取付けた中間脚の⑦の片側連結ボルトを貫き材、天板、棚板の回転金具に差し込むように設置し、回転金具を右へ回し固定してください。（5力所）  
※天板の回転金具を回す際は、間が狭いので④のドライバーをご使用ください。

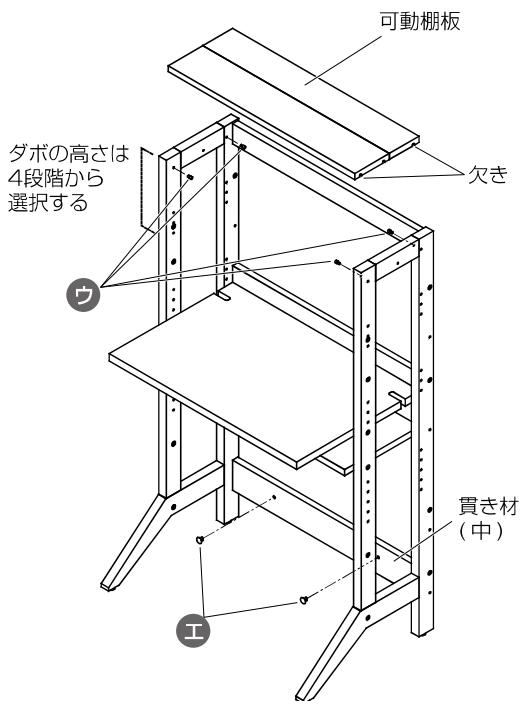


720H

4

### 可動棚板の取付け

- ① 脚の内々の図の位置の高さのダボ穴に⑨のダボ（4個）差込みその上に棚板の欠きを合わせるように設置してください。  
② 一番下の貫き材（中）の穴に、⑩の穴埋め用キャップを2ヶ所取付けてください。



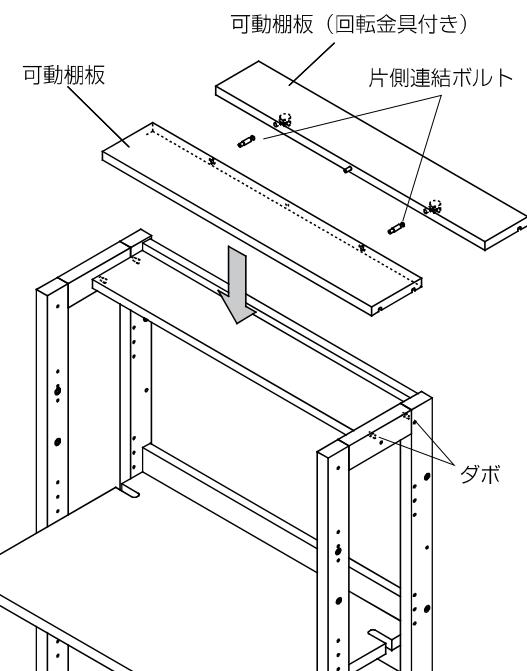
720H

5

### 可動棚板の分割

ご使用状態に合わせ可動棚板を分割してご使用できます。

- ① 回転金具を左へ回し、可動棚板を分割してください。  
② 片側連結ボルトを外してください。  
③ 手前側のダボ位置を図の位置に取付けてください。  
※分割された可動棚板は最上段の位置にのみ取付けできます。  
④ 回転金具が付いていない方の可動棚板をセットしてご使用ください。  
※もう一枚の棚板及び片側連結ボルトは大切に保管してください。



→ P26、P27へ進む

# 天板高さ350mmの組立

350H

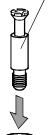
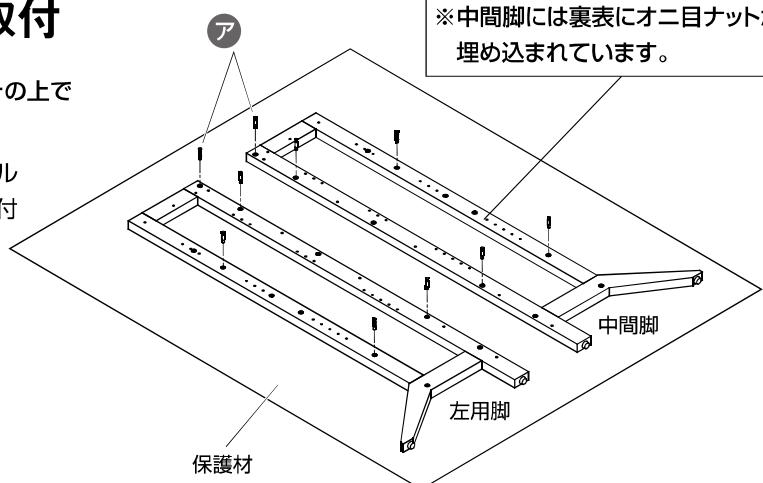
## 1 片側連結ボルトの取付

※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①左右の脚を図のように置き、アの片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所づつ図の位置に脚に取付けてください。

### Point [連結ボルトについて]

連結ボルトを鬼目ナット  
トにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。 鬼目ナット

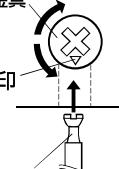
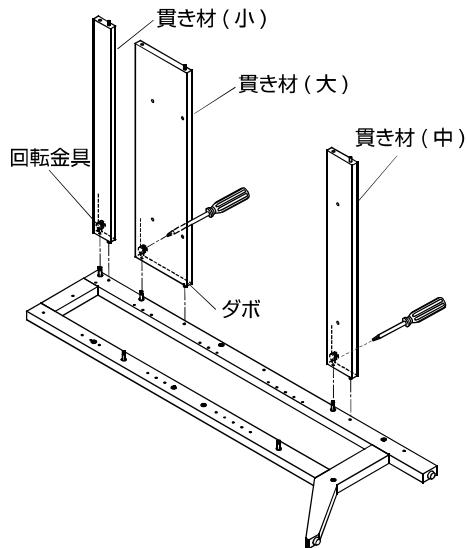
350H

## 2 片側の脚への貫き材の取付

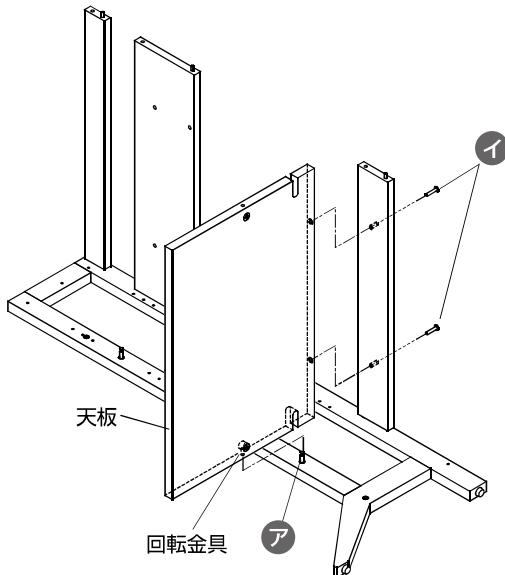
- ①片側の脚に回転金具が後方を向くように貫き材を図の位置に差込み、回転金具を回し固定してください。

### Point [回転金具について]

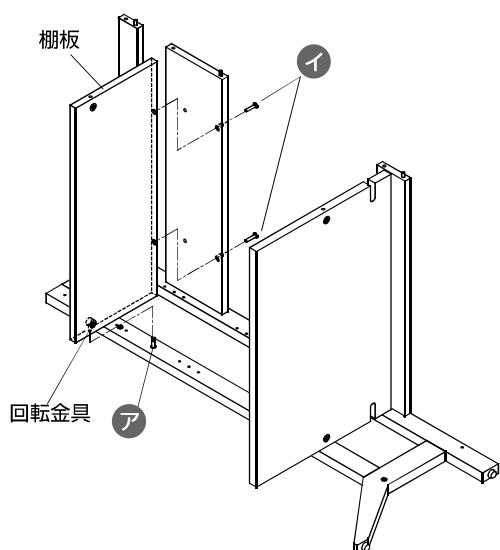
回転金具  
(部材に埋め込まれています)  
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。 矢印  
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルト  
が入り(外れ)ます。  
片側連結ボルト

- ②天板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(中)の後方より①のコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



- ③棚板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方より①のコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



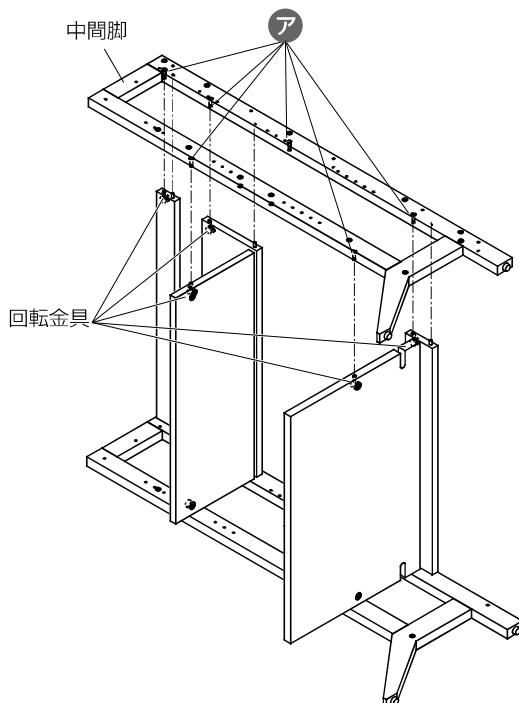
## 天板高さ350mmの組立

350H

**3**

### 中間脚の取付け

- ①図で取付けた中間脚のアの片側連結ボルトを貫き材、天板、棚板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を右へ回し固定してください。(5力所)



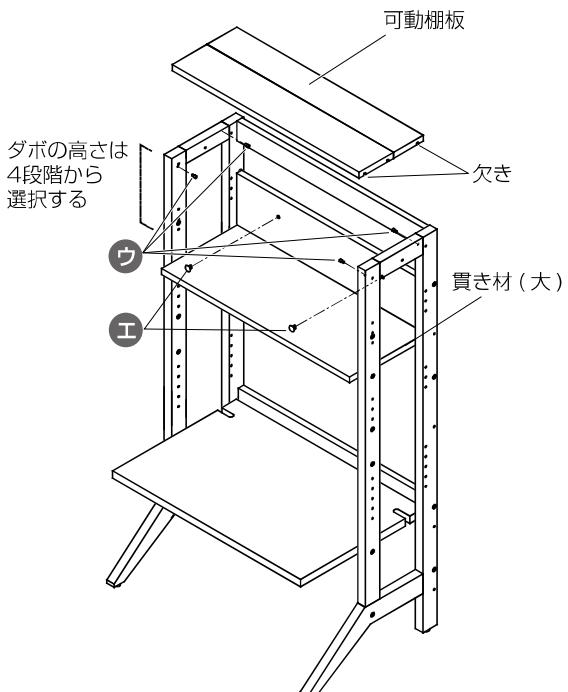
350H

**4**

### 可動棚板の取付け

- ①脚の内々の任意の図の位置の高さのダボ穴にウのダボ(4個)差込みその上に棚板の欠きを合わせるように設置してください。

- ②図の位置の貫き材(大)の穴に、工の穴埋め用キャップを2ヶ所取付けてください。



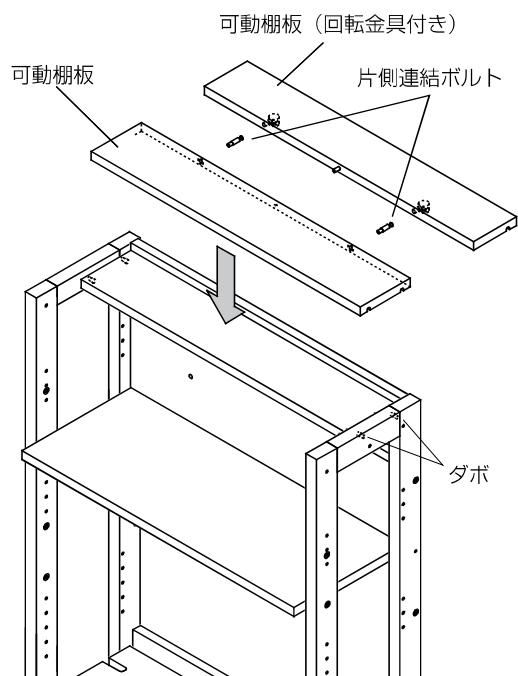
350H

**5**

### 可動棚板の分割

ご使用状態に合わせ可動棚板を分割してご使用できます。

- ①回転金具を左へ回し、可動棚板を分割してください。
- ②片側連結ボルトを外してください。
- ③手前側のダボ位置を図の位置に取付けてください。  
※分割された可動棚板は最上段の位置にのみ取付けできます。
- ④回転金具が付いていない方の可動棚板をセットしてご使用ください。  
※もう一枚の棚板及び片側連結ボルトは大切に保管してください。



➡ P26、P27へ進む

# 天板高さ1000mmの組立

1000H

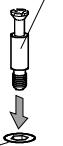
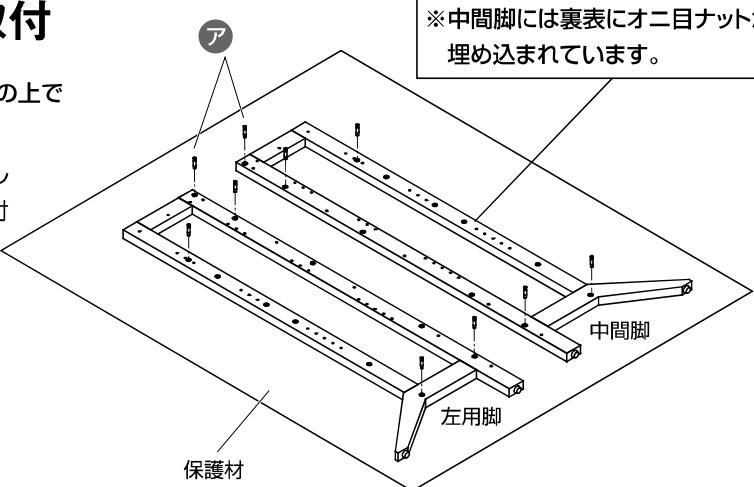
## 1 片側連結ボルトの取付

※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①左右の脚を図のように置き、アの片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所づつ脚の図の位置に取付けてください。

### Point [連結ボルトについて]

連結ボルトを鬼目ナットにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。 鬼目ナット

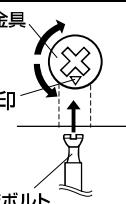
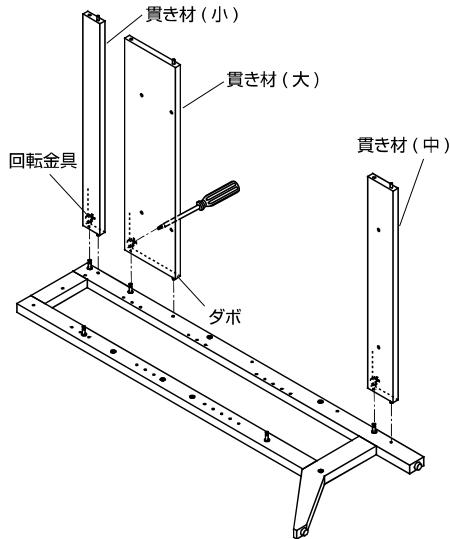
1000H

## 2 片側の脚への貫き材の取付

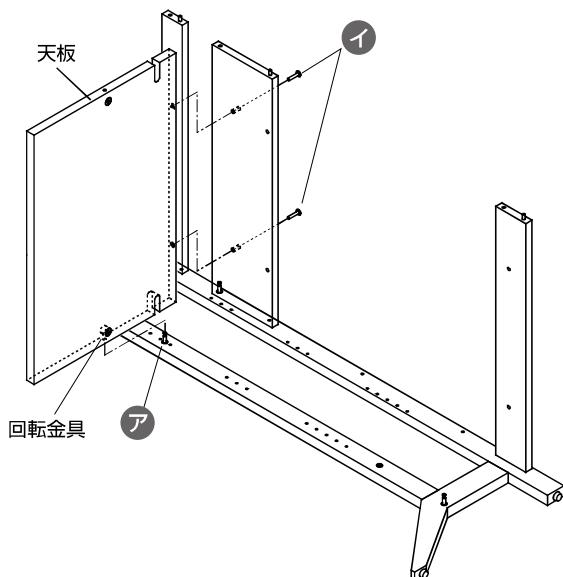
- ①片側の脚に回転金具が後方を向くように貫き材を図の位置に差込み、回転金具を回し固定してください。

### Point [回転金具について]

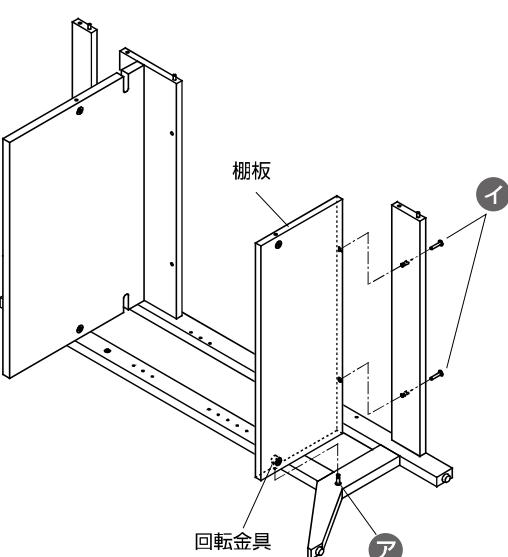
回転金具  
(部材に埋め込まれています)  
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。 矢印  
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り(外れ)ます。  
片側連結ボルト

- ②天板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方よりイのコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



- ③棚板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方よりイのコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



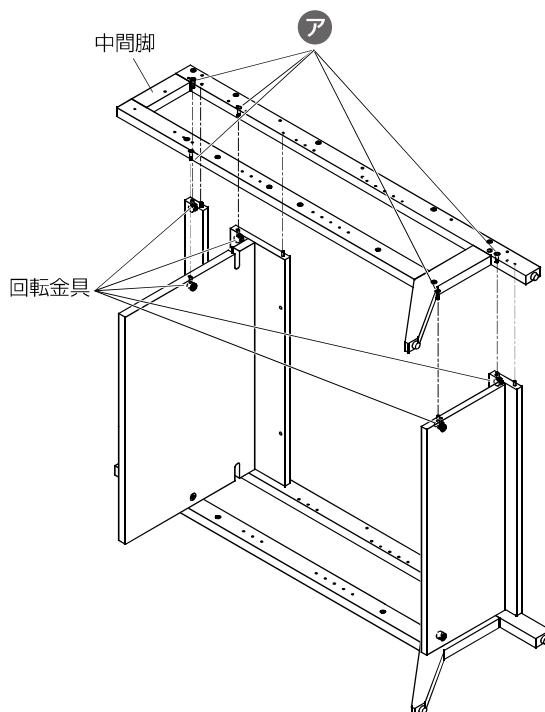
## 天板高さ1000mmの組立

1000H

3

### 中間脚の取付け

- ①図1で取付けた中間脚のアの片側連結ボルトを貫き材、天板、棚板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を右へ回し固定してください。(5力所)

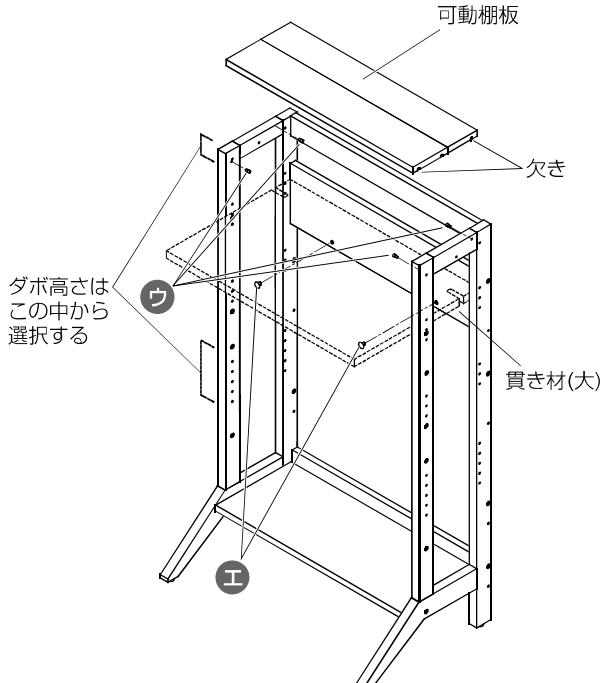


1000H

4

### 可動棚板の取付け

- ①脚の内々の任意の高さのダボ穴にウのダボ(4個)差込み  
その上に棚板の欠きを合わせるように設置してください。  
②図の位置の貫き材(大)の穴に、工の穴埋め用キャップを  
2ヶ所取付けてください。



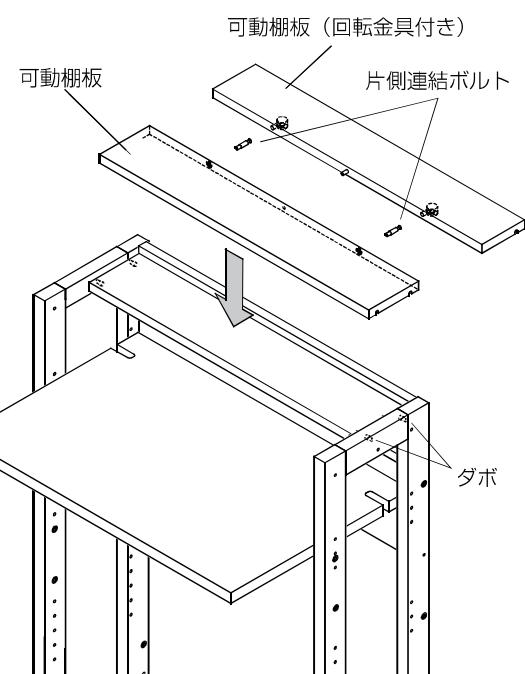
1000H

5

### 可動棚板の分割

ご使用状態に合わせ可動棚板を分割してご使用できます。

- ①回転金具を左へ回し、可動棚板を分割してください。  
②片側連結ボルトを外してください。  
③手前側のダボ位置を図の位置に取付けてください。  
※分割された可動棚板は最上段の位置にのみ取付けできます。  
④回転金具が付いていない方の可動棚板をセットしてご使用ください。  
※もう一枚の棚板及び片側連結ボルトは大切に保管してください。



⇒ P26、P27へ進む

# シェルフの組立

シェルフ

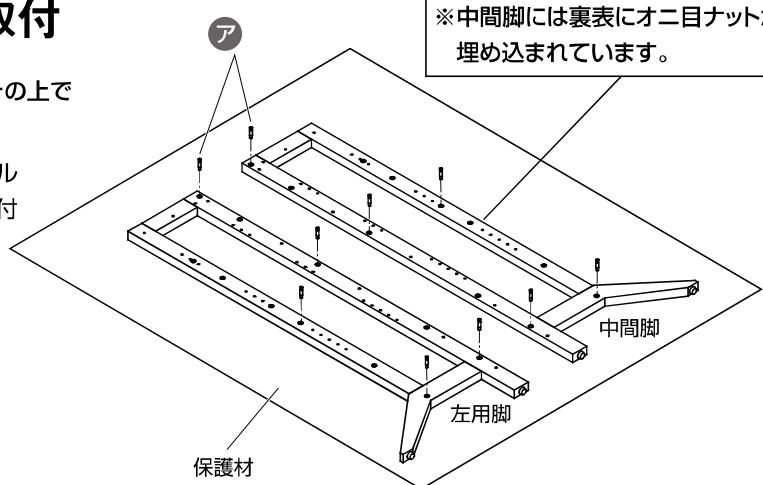
## 1 片側連結ボルトの取付

※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①左右の脚を図のように置き、アの片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所づつ図の位置に脚に取付けてください。

### Point [連結ボルトについて]

連結ボルトを鬼目ナットにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。 鬼目ナット



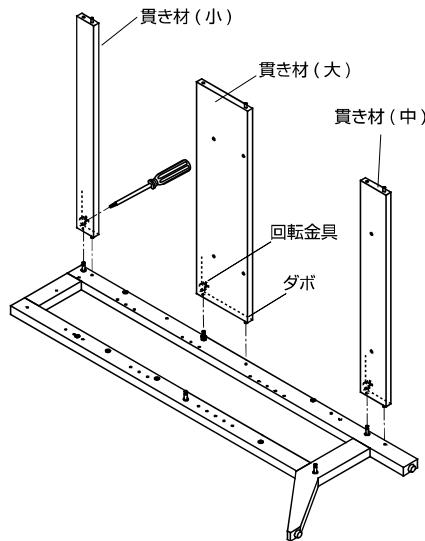
シェルフ

## 2 片側の脚への貫き材の取付

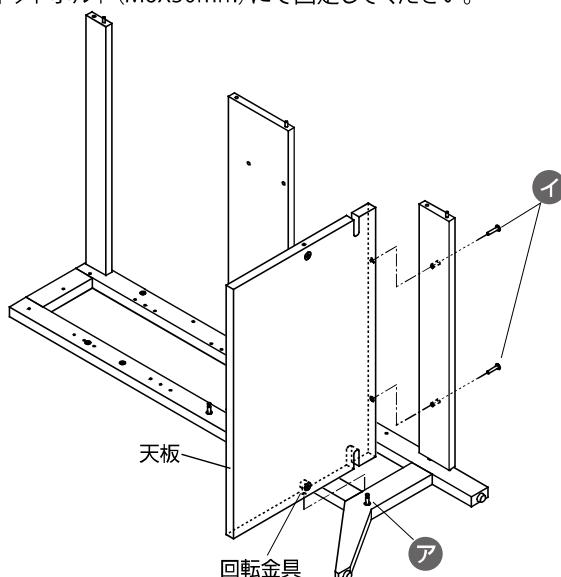
- ①片側の脚に回転金具が後方を向くように貫き材を図の位置に差込み、回転金具を回し固定してください。

### Point [回転金具について]

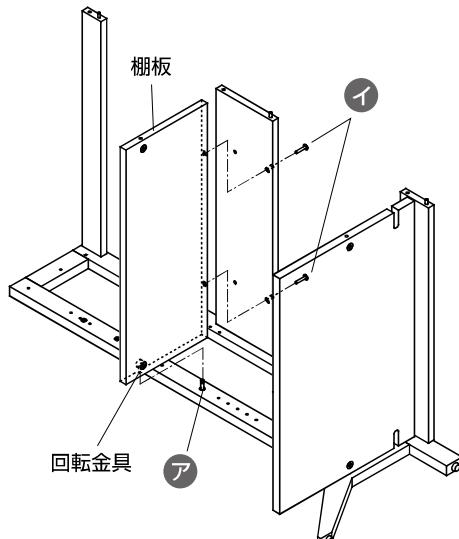
回転金具  
(部材に埋め込まれています)  
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。 矢印  
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り(外れ)ます。  
片側連結ボルト



- ②天板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(中)の後方よりイのコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



- ③棚板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方よりイのコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



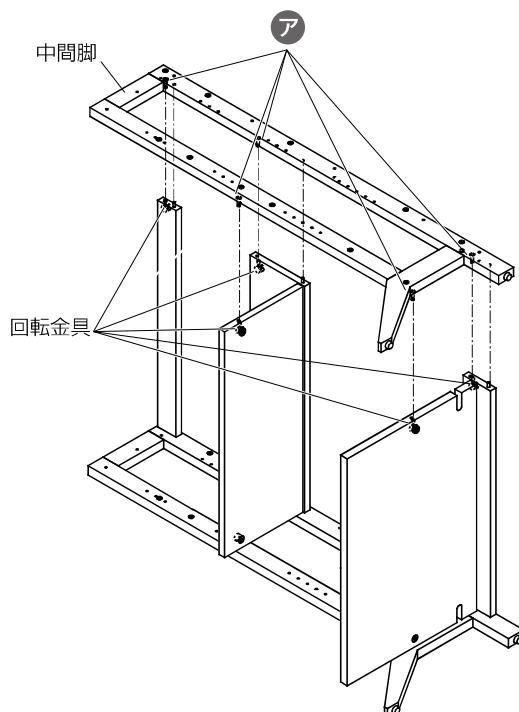
## シェルフの組立

シェルフ

3

### 中間脚の取付け

- ① 1で取付けた中間脚のアの片側連結ボルトを貫き材、天板、棚板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を右へ回し固定してください。(5力所)

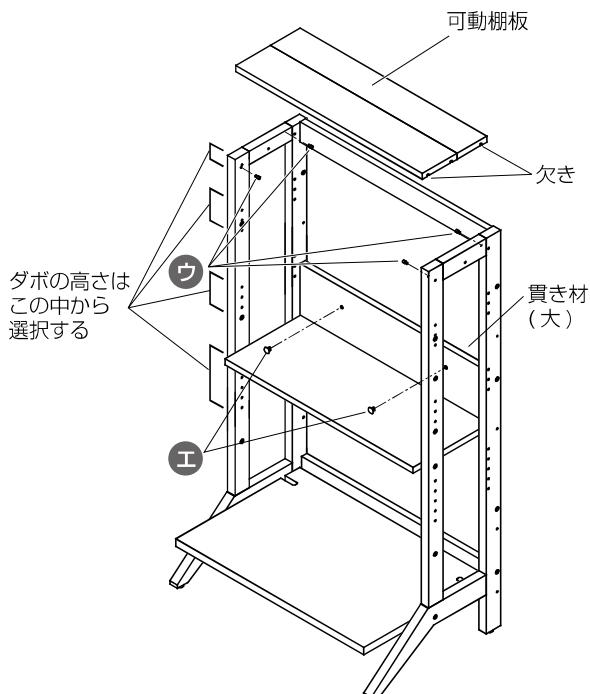


シェルフ

4

### 可動棚板の取付け

- ① 脚の内々の任意の高さのダボ穴にロのダボ(4個)差込み  
その上に棚板の欠きを合わせるように設置してください。  
② 図の位置の貫き材(大)の穴に、工の穴埋め用キャップを  
2ヶ所取付けてください。



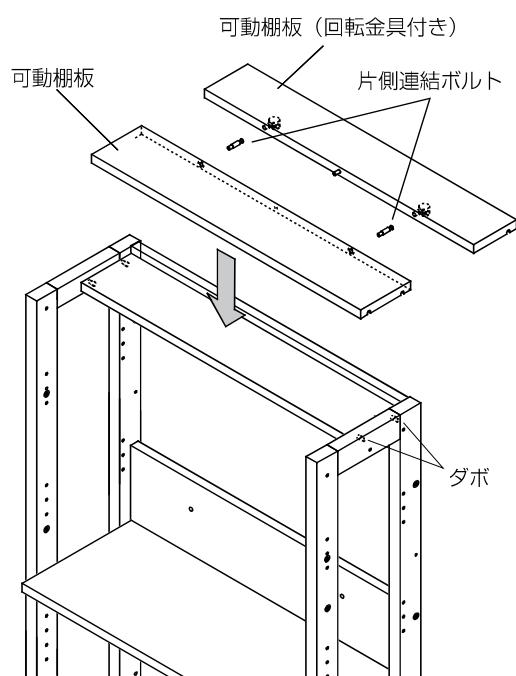
シェルフ

5

### 可動棚板の分割

ご使用状態に合わせ可動棚板を分割してご使用できます。

- ① 回転金具を左へ回し、可動棚板を分割してください。  
② 片側連結ボルトを外してください。  
③ 手前側のダボ位置を図の位置に取付けてください。  
※ 分割された可動棚板は最上段の位置にのみ取付けできます。  
④ 回転金具が付いていない方の可動棚板をセットしてご使用ください。  
※ もう一枚の棚板及び片側連結ボルトは大切に保管してください。



➡ P26、P27へ進む

## オープン棚の組立

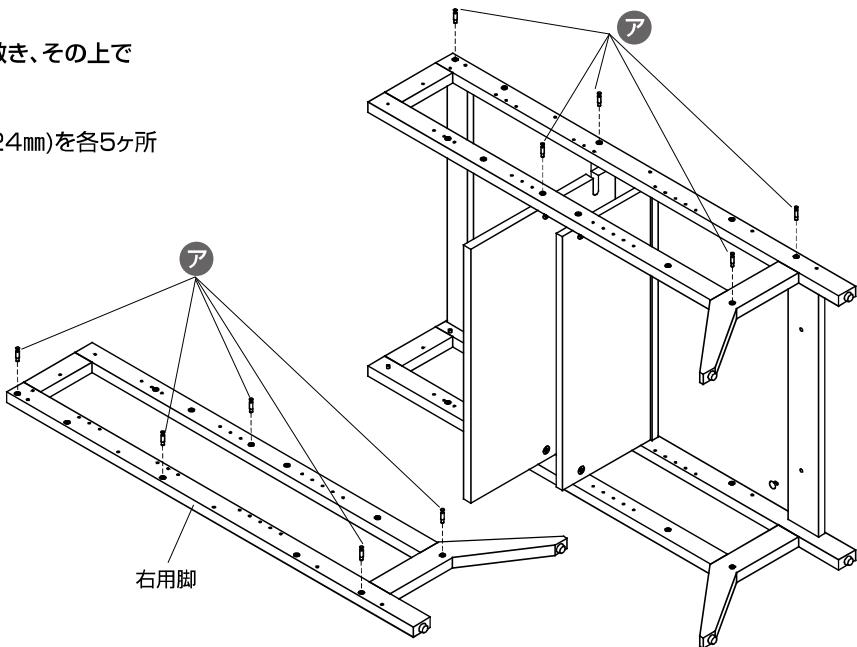
### 6 オープン棚組付け用片側連結ボルトの取付け

※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①右用脚中間脚にⒶの片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所ずつ取付けてください。

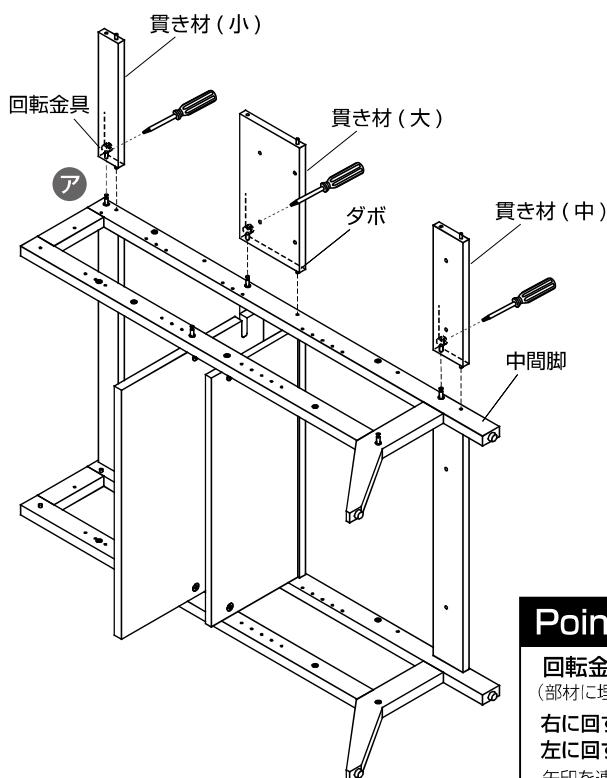
#### Point [連結ボルトについて]

連結ボルトを鬼目ナット 片側連結ボルト  
トにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。 鬼目ナット

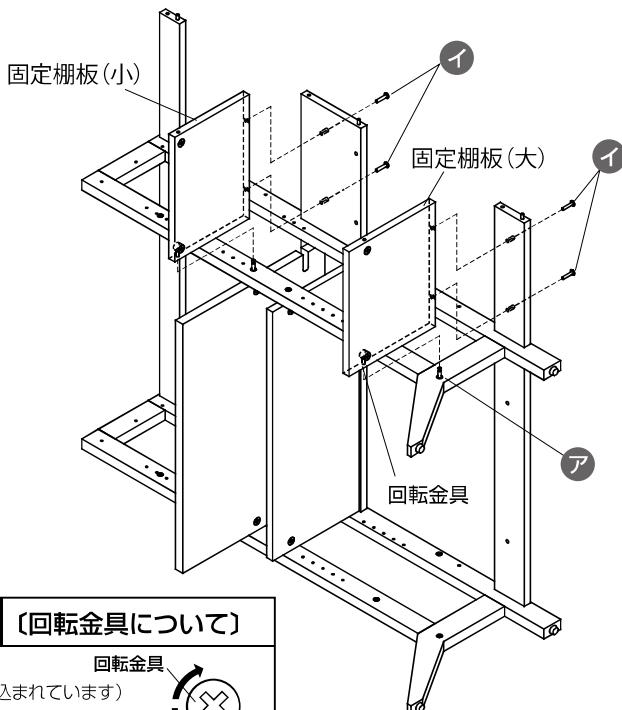


### 7 中間脚への貫き材・固定棚板・底板の取付け

- ①中間脚に回転金具が後方を向くように貫き材を差込み、回転金具を回し固定してください。(3力所)



- ②固定棚板・底板をⒶの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具と貫き材(大)(中)の後方より①のコネクトボルト(M6×30mm)にて固定してください。



#### Point [回転金具について]

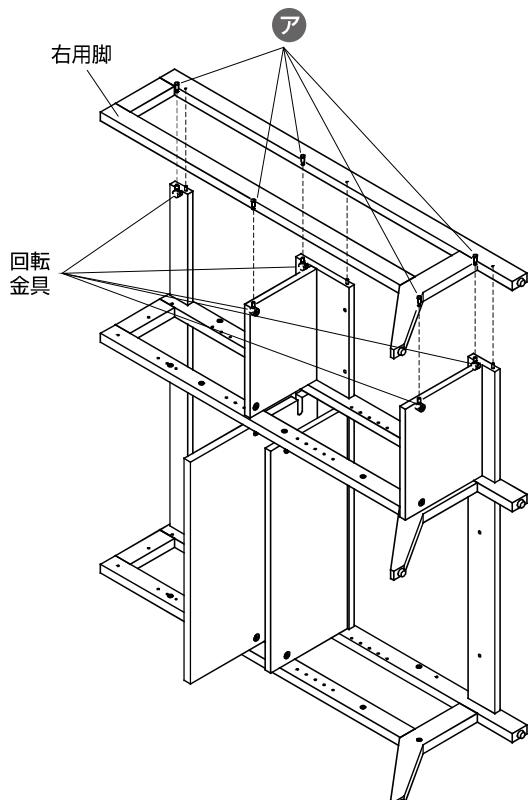
回転金具 回転金具  
(部材に埋め込まれています)  
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。 矢印  
矢印を連結ボルトの方に  
合わせると、連結ボルト  
が入り(外れます)。

片側連結ボルト

# オープン棚の組立

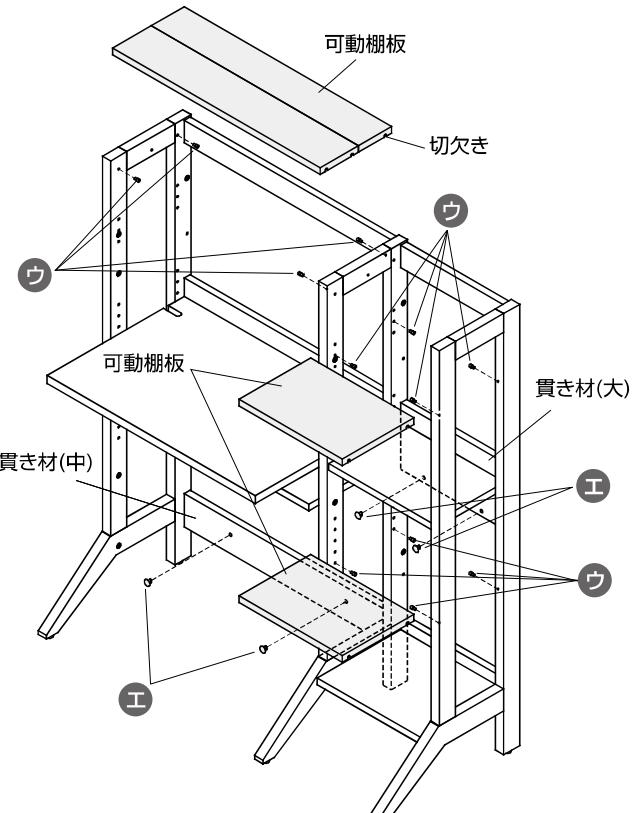
## 8 右用脚の取付け

- ① 6で取付けた右用脚のアの片側連結ボルトを貫き材、固定棚板、底板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を回し固定してください。



## 9 可動棚板の設置 及び 穴埋め用キャップの取付け

- ① 各脚の内々の任意の高さのダボ穴にイの差込ダボ(7mm)差込み、その上に棚板の切欠きを合わせるように設置してください。  
② 図の位置の貫き材(大)、オープン棚の貫き材(大)の穴に、ウの穴埋め用キャップ(8mm)を各2ヶ所ずつ取付けてください。



## 組替え方法

※組替えを行う時は、一度全ての可動棚板を取り外してください。

### ●天板の高さを替える場合

- ① デスク用天板と貫き材を脚から取外し、P4から順にデスク部分を組立ててください。

### ●オープン棚の左右を替える場合

- ① 一度全ての部品を取り外し、梱包状態にもどして、P4から順に組立ててください。

# デスクセット(片開きタイプ)

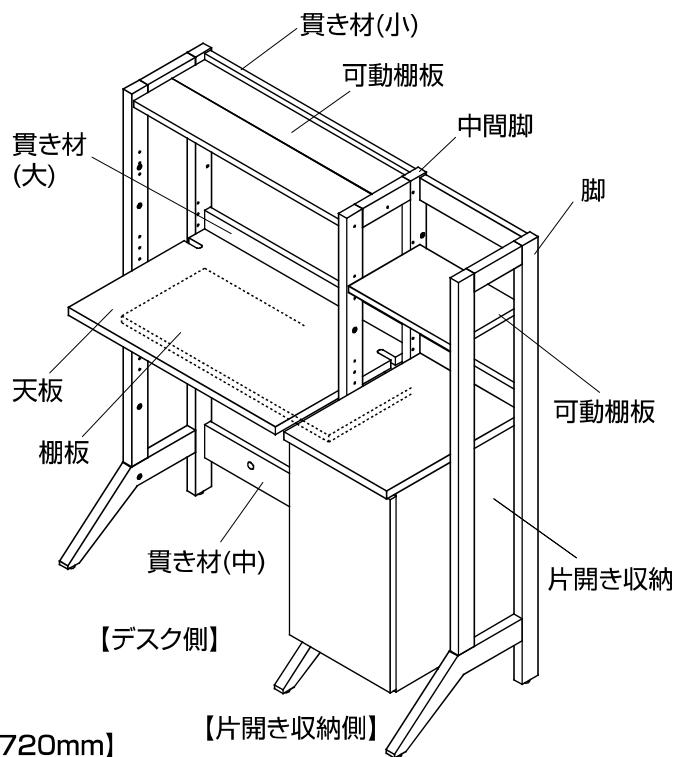
86NBCD

## 組立完成図 (各部の名称)

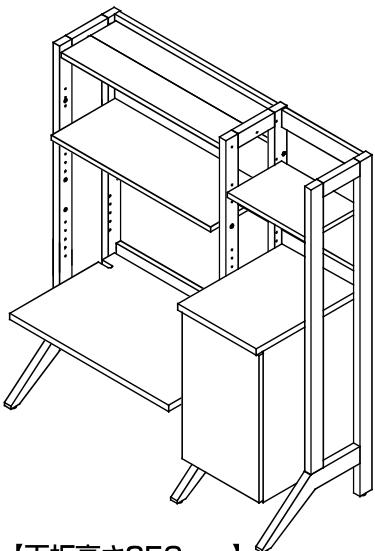
組立には+の  
ドライバーが必要です。  
ご用意お願いします。  
\*電動ドライバーは製品を破損  
する恐れがあるので使わない  
でください。



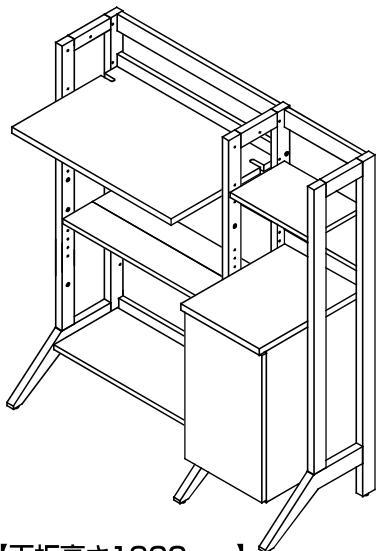
組立ては  
2名以上で  
行って  
ください。



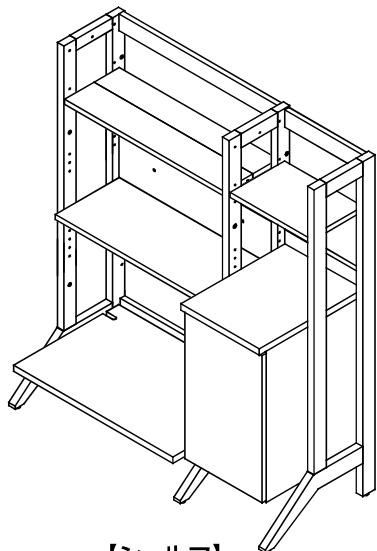
### ■デスクの配置例



【天板高さ350mm】



【天板高さ1000mm】



【シェルフ】

組立前にご確認ください。

## 注意シールの位置

### 品質表示シール



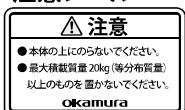
(天板裏面中央に貼付)

### 製品番号シール



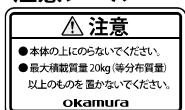
(天板裏面中央に貼付)

### 注意シール



(天板表面右前に貼付)

### 注意シール



(天板表面右前に貼付)

### 製品番号シール



(片開き収納内側左側面に貼付)

### 製品番号シール



(脚フレーム下部に貼付)

### 製品番号シール



(底板裏面に貼付)

(表示シールは剥がさないでください)

## 部品明細(組立前に必ずご確認ください。)

\*部品の数量は各梱包付属数の合計の数です。

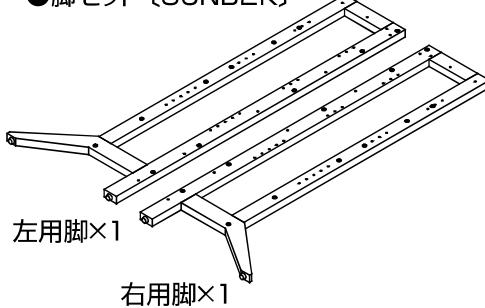
ア X 18	片側連結ボルト (24mm)	1 X 10	コネクトボルト (M6×30mm)	実物大	ウ X 12	差し込みダボ (7mm)	工 X 2	穴埋め用キャップ (8mm)
-----------	-------------------	-----------	----------------------	-----	-----------	-----------------	----------	-------------------



組立には+のドライバーをご使用ください。

\* 電動ドライバー、電動工具は製品を傷つけたり破損する恐れがありますので、手回しのドライバーを使用してください。

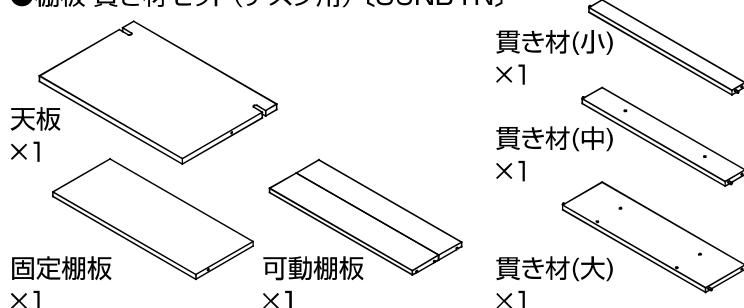
### ●脚セット [86NB2K]



左用脚×1

右用脚×1

### ●棚板・貫き材セット(デスク用) [86NB1N]

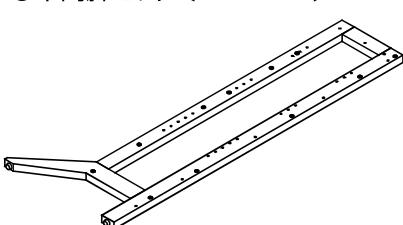


貫き材(小)  
X 1

貫き材(中)  
X 1

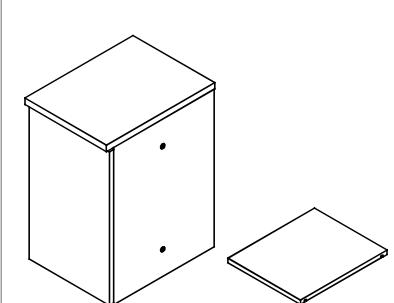
貫き材(大)  
X 1

### ●中間脚セット [86NB1K]



中間脚×1

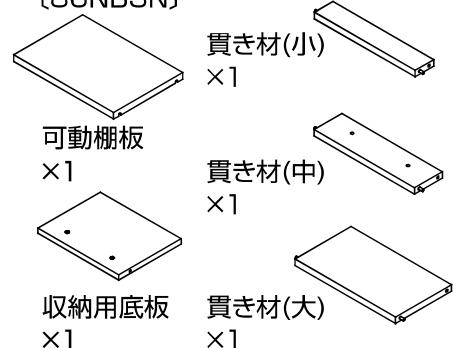
### ●片開き収納 [86NB3S]



片開き収納  
X 1

片開き収納内棚板  
X 1

### ●棚板・貫き材セット(片開き扉用) [86NB3N]



貫き材(小)  
X 1

貫き材(中)  
X 1

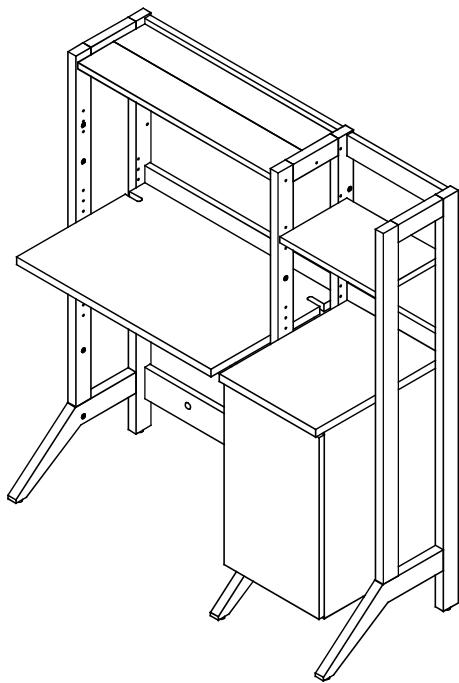
貫き材(大)  
X 1

※中間脚には裏表にオニ目ナットが  
埋め込まれています。

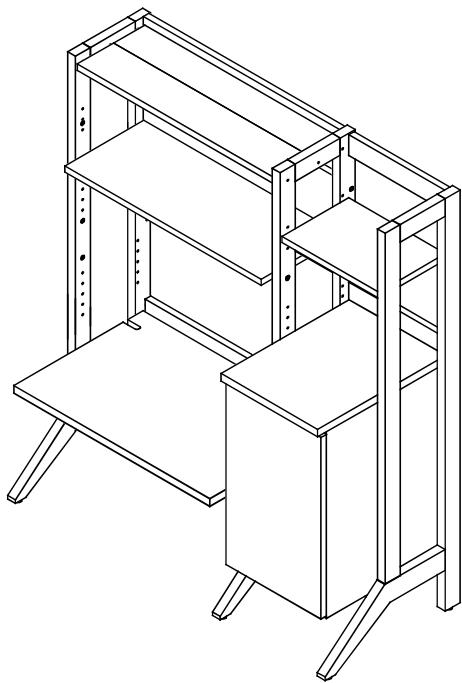
## 組み立てるタイプを確認してください

※以下の中から組み立てたいタイプを選択し、各組立方法の頁に進んでください。

【天板高さ720mm】



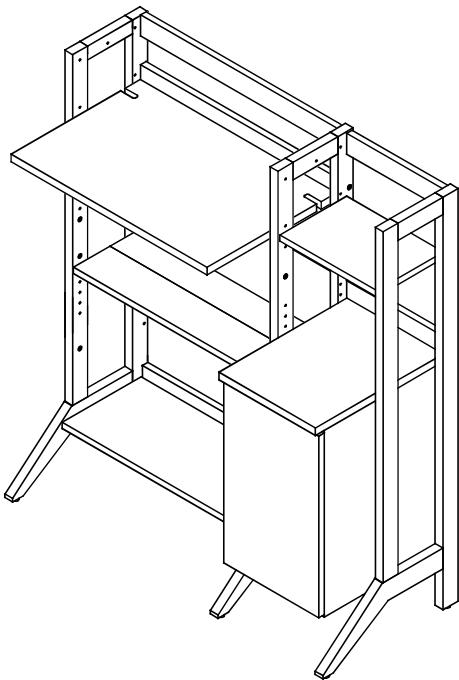
【天板高さ350mm】



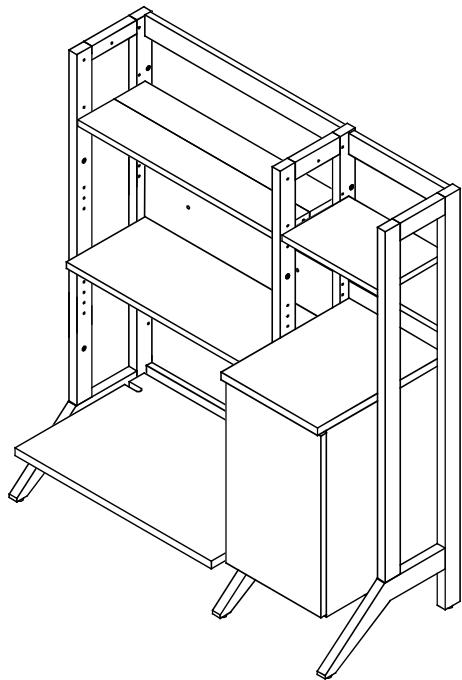
P32、P33→P40、P41の順に進んでください。

P34、P35→P40、P41の順に進んでください。

【天板高さ1000mm】



【シェルフ】



P36、P37→P40、P41の順に進んでください。

P38、P39→P40、P41の順に進んでください。

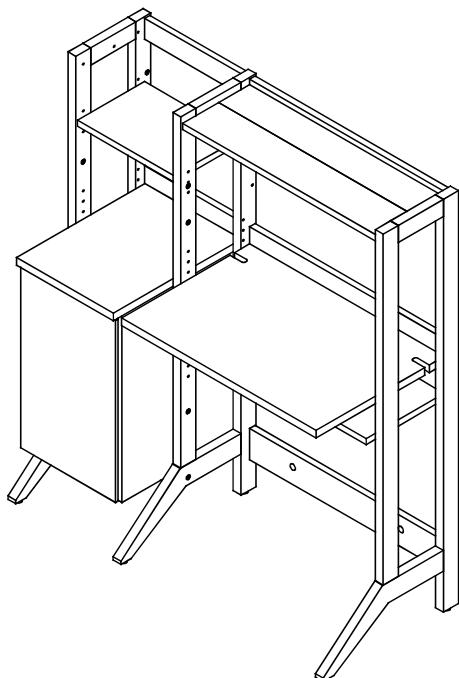
## 片開き収納棚を取付ける向きを確認してください

※片開き収納棚は左右どちらにも取付可能です。部屋への設置位置に合わせお選びください。

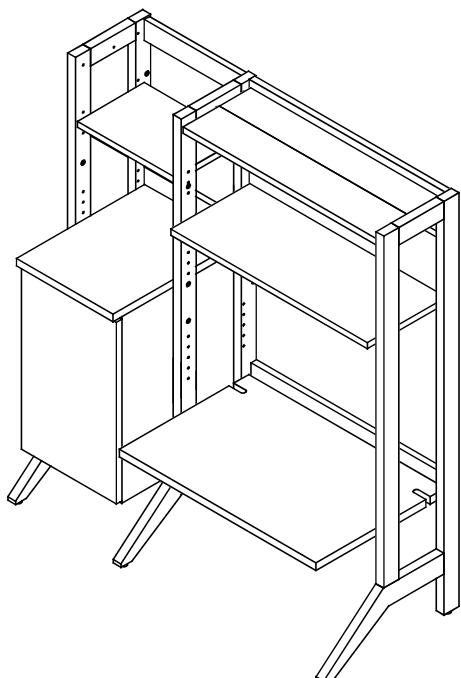
本組立手順は、片開き収納を右側に組立てる内容になっています。

片開き収納を左側にする場合は、デスク用の天板や貰き材とオープン棚用の棚板や貰き材を、左右逆に取付けます。

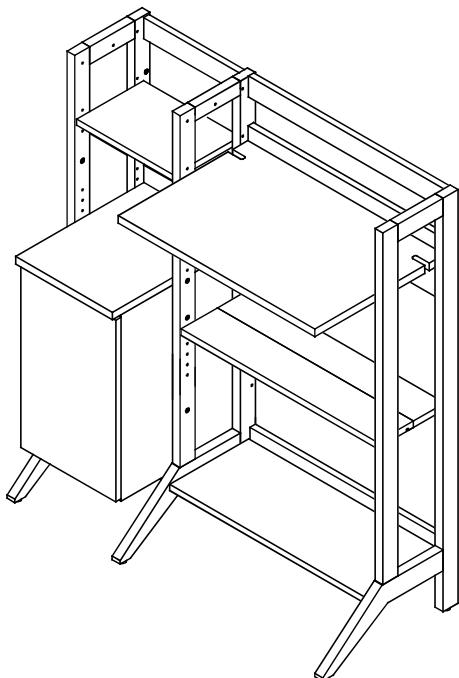
【天板高さ720mm(左片開き収納棚)】



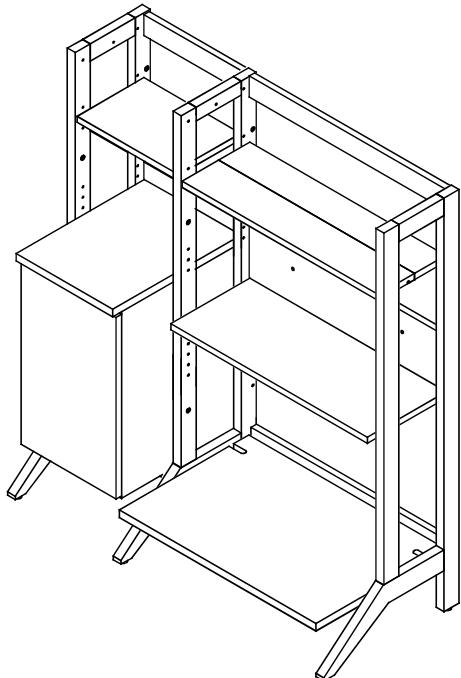
【天板高さ350mm(左片開き収納棚)】



【天板高さ1000mm(左片開き収納棚)】



【シェルフ(左片開き収納棚)】



# 天板高さ720mmの組立

720H

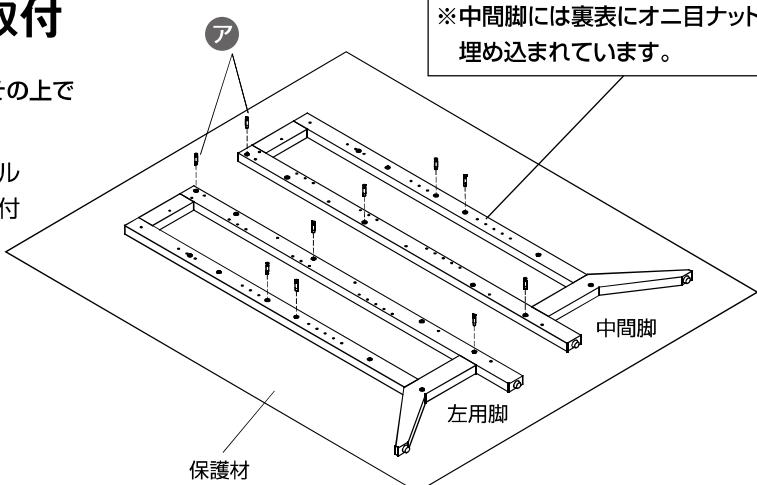
## 1 片側連結ボルトの取付

※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①左右の脚を図のように置き、アの片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所づつ脚の図の位置に取付けてください。

### Point [連結ボルトについて]

連結ボルトを鬼目ナット 片側連結ボルト  
トにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。 鬼目ナット

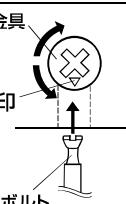
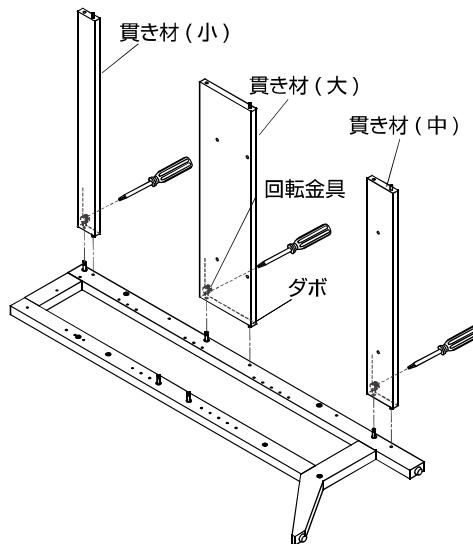
720H

## 2 片側の脚への貫き材の取付

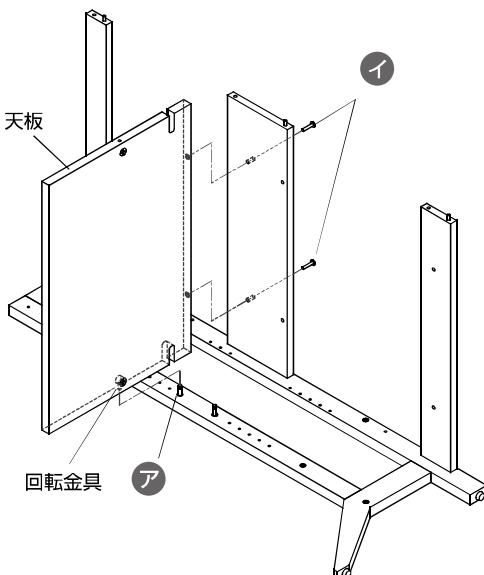
- ①片側の脚に回転金具が後方を向くように貫き材を図の位置に取差込み、回転金具を回し固定してください。

### Point [回転金具について]

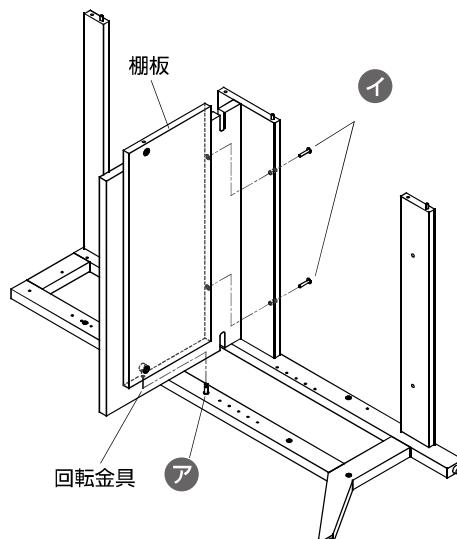
回転金具 回転金具  
(部材に埋め込まれています)  
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。 矢印  
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルト  
が入り(外れ)ます。  
片側連結ボルト

- ②天板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方よりイのコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



- ③棚板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方よりイのコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



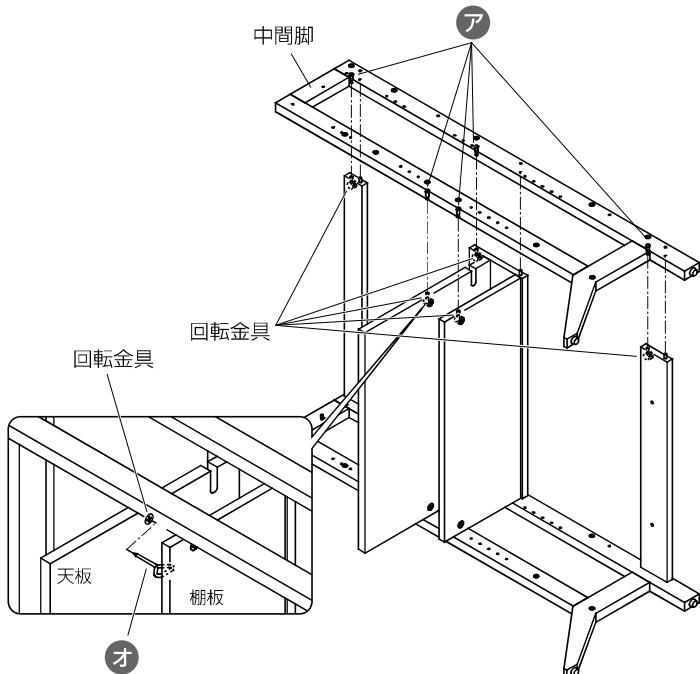
## 天板高さ720mmの組立

720H

**3**

### 中間脚の取付け

- ① ①で取付けた中間脚の②の片側連結ボルトを貫き材、天板、棚板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を右へ回し固定してください。(5力所)  
※天板の回転金具を回す際は、間が狭いので④のドライバーをご使用ください。

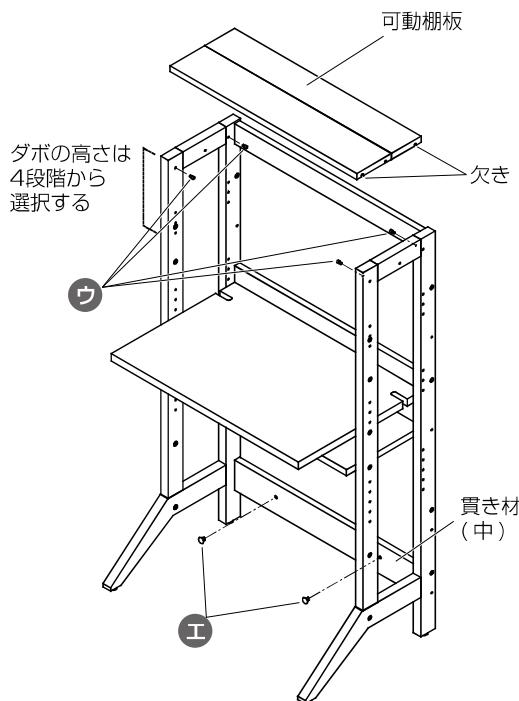


720H

**4**

### 可動棚板の取付け

- ①脚の内々の図の位置の高さのダボ穴に②のダボ(4個)差込みその上に棚板の欠きを合わせるように設置してください。  
②一番下の貫き材(中)の穴に、③の穴埋め用キャップを2ヶ所取付けてください。



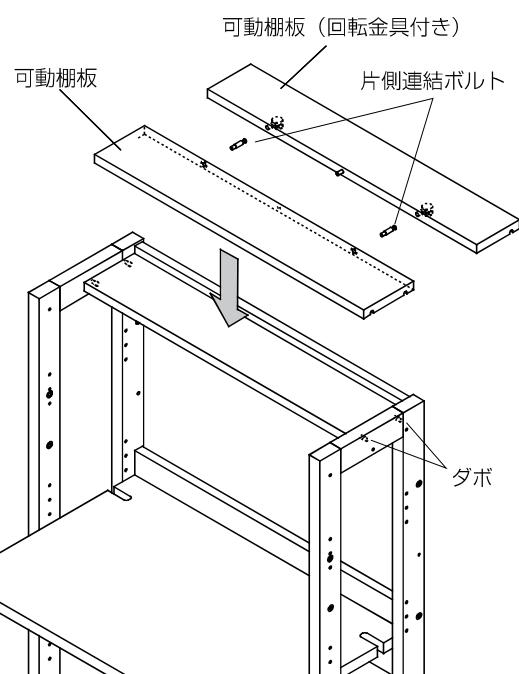
720H

**5**

### 可動棚板の分割

ご使用状態に合わせ可動棚板を分割してご使用できます。

- ①回転金具を左へ回し、可動棚板を分割してください。  
②片側連結ボルトを外してください。  
③手前側のダボ位置を図の位置に取付けてください。  
※分割された可動棚板は最上段の位置にのみ取付けできます。  
④回転金具が付いていない方の可動棚板をセットしてご使用ください。  
※もう一枚の棚板及び片側連結ボルトは大切に保管してください。



→ P40、P41へ進む

# 天板高さ350mmの組立

350H

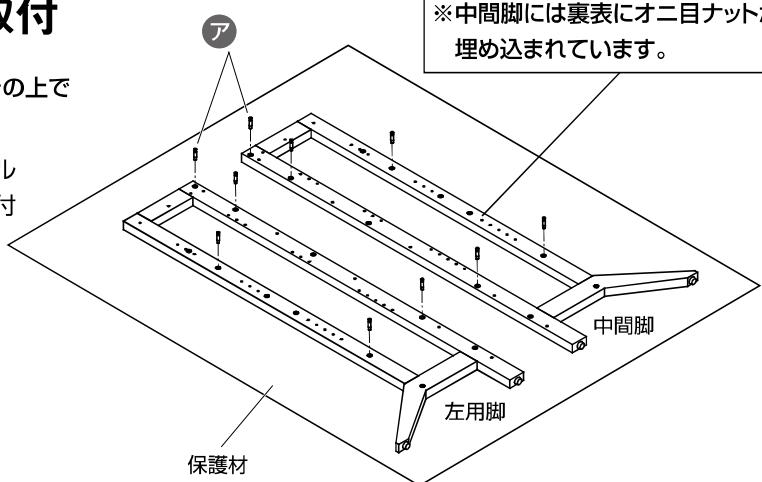
## 1 片側連結ボルトの取付

※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①左右の脚を図のように置き、アの片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所づつ図の位置に脚に取付けてください。

### Point [連結ボルトについて]

連結ボルトを鬼目ナット片側連結ボルトにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。 鬼目ナット

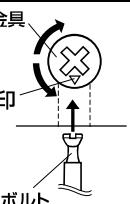
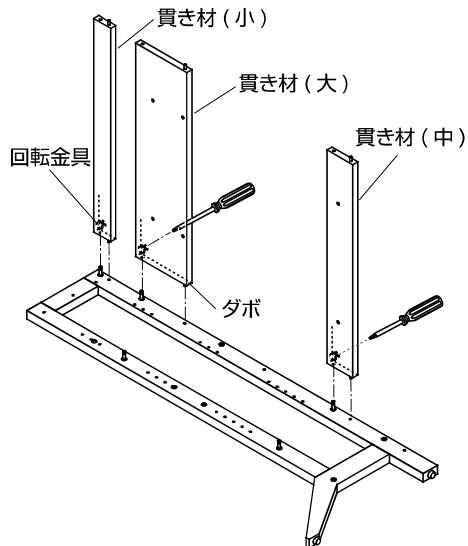
350H

## 2 片側の脚への貫き材の取付

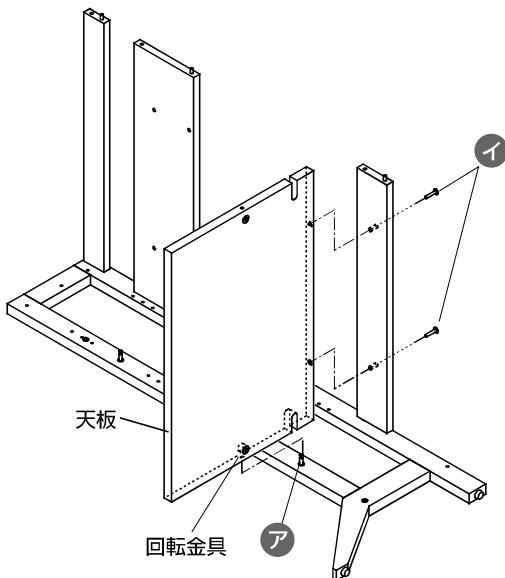
- ①片側の脚に回転金具が後方を向くように貫き材を図の位置に差込み、回転金具を回し固定してください。

### Point [回転金具について]

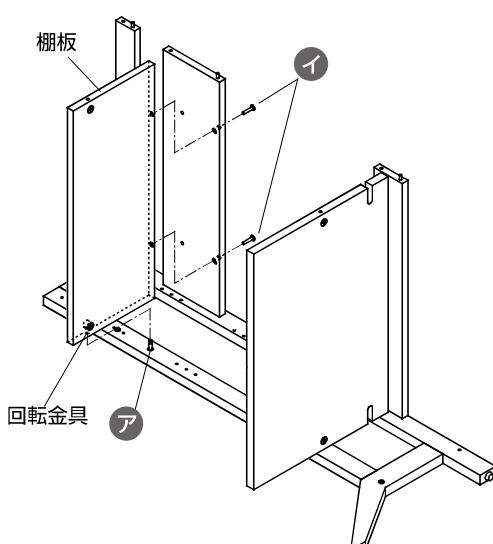
回転金具  
(部材に埋め込まれています)  
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。 矢印  
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り(外れ)ます。  
片側連結ボルト

- ②天板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(中)の後方よりイのコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



- ③棚板をアの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方よりイのコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



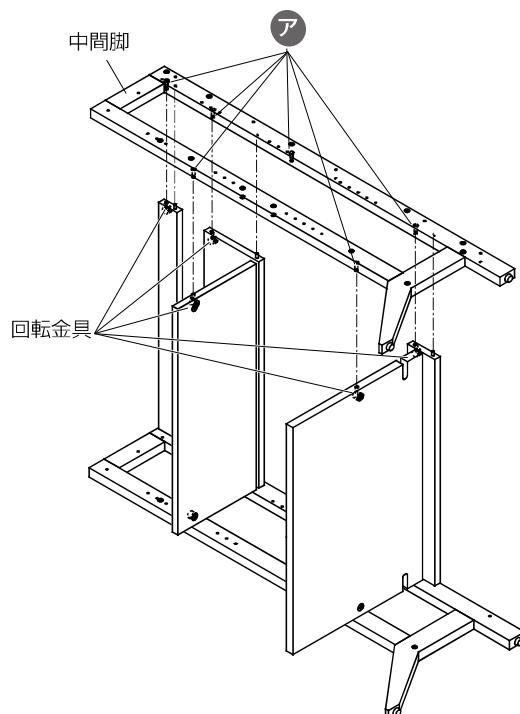
## 天板高さ350mmの組立

350H

**3**

### 中間脚の取付け

- ①図で取付けた中間脚のアの片側連結ボルトを貫き材、天板、棚板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を右へ回し固定してください。(5力所)



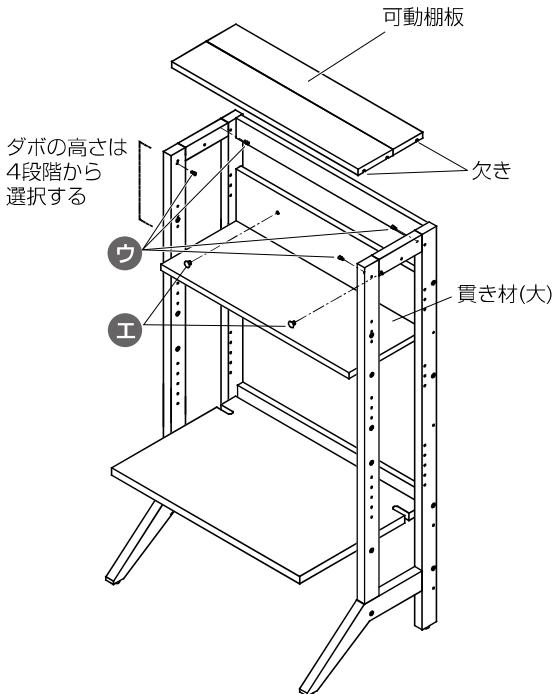
350H

**4**

### 可動棚板の取付け

- ①脚の内々の任意の図の位置の高さのダボ穴にウのダボ(4個)差込みその上に棚板の欠きを合わせるように設置してください。

- ②図の位置の貫き材(大)の穴に、エの穴埋め用キャップを2ヶ所取付けてください。



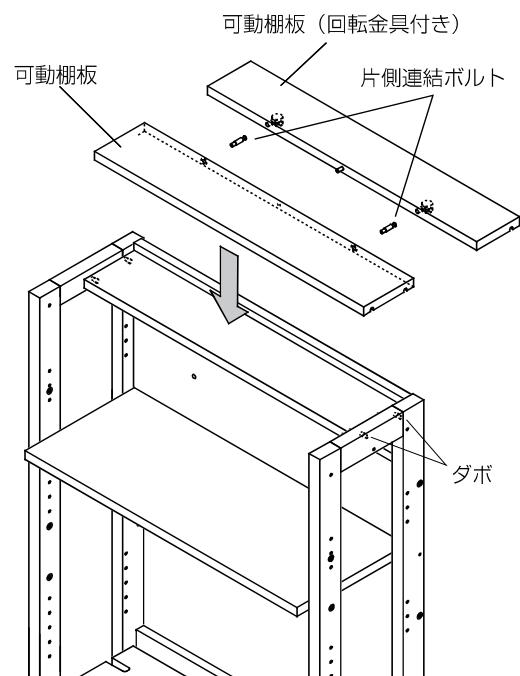
350H

**5**

### 可動棚板の分割

ご使用状態に合わせ可動棚板を分割してご使用できます。

- ①回転金具を左へ回し、可動棚板を分割してください。
- ②片側連結ボルトを外してください。
- ③手前側のダボ位置を図の位置に取付けてください。  
※分割された可動棚板は最上段の位置にのみ取付けできます。
- ④回転金具が付いていない方の可動棚板をセットしてご使用ください。  
※もう一枚の棚板及び片側連結ボルトは大切に保管してください。



➡ P40、P41へ進む

# 天板高さ1000mmの組立

1000H

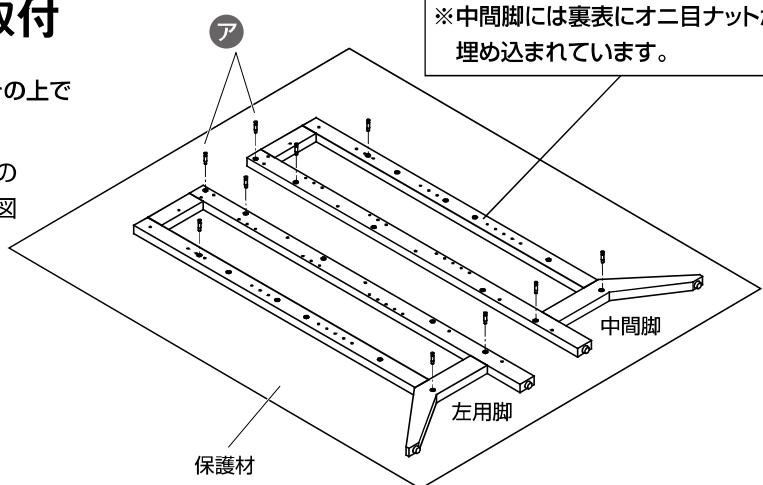
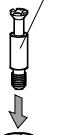
## 1 片側連結ボルトの取付

※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①オニ目が上に向くように左右の脚を置き、Ⓐの片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所づつ脚の図の位置に取付けてください。

### Point [連結ボルトについて]

連結ボルトを鬼目ナット 片側連結ボルト  
トにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。 鬼目ナット



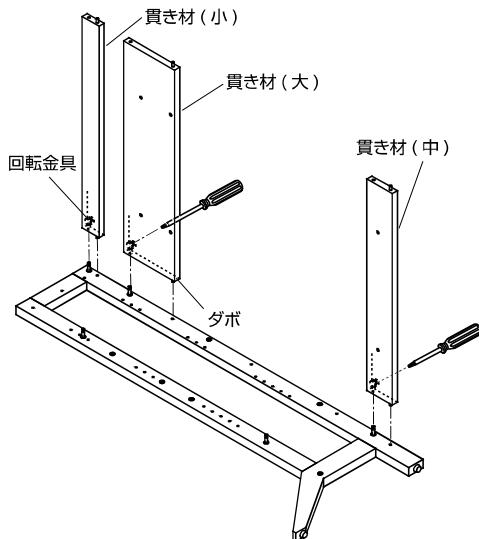
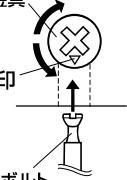
1000H

## 2 片側の脚への貫き材の取付

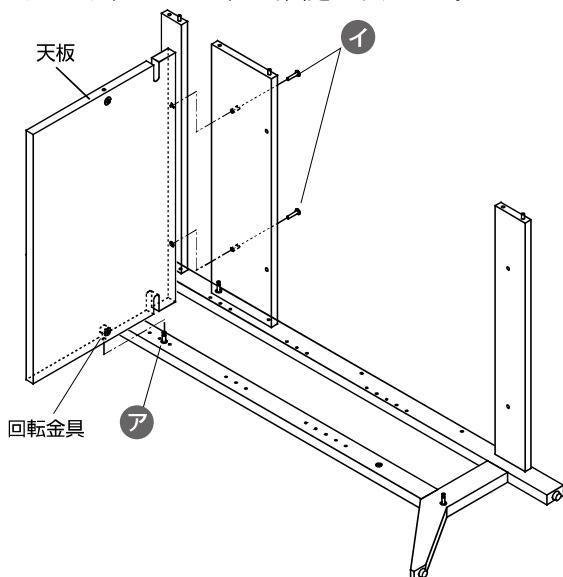
- ①片側の脚に回転金具が後方を向くように貫き材を図の位置に差込み、回転金具を回し固定してください。

### Point [回転金具について]

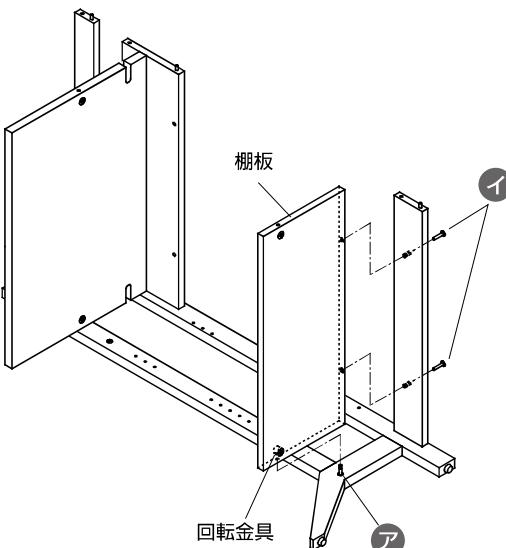
回転金具 回転金具  
(部材に埋め込まれています)  
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。 矢印  
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り(外れます)。  
片側連結ボルト



- ②天板をⒶの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方より①のコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



- ③棚板をⒶの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(中)の後方より①のコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



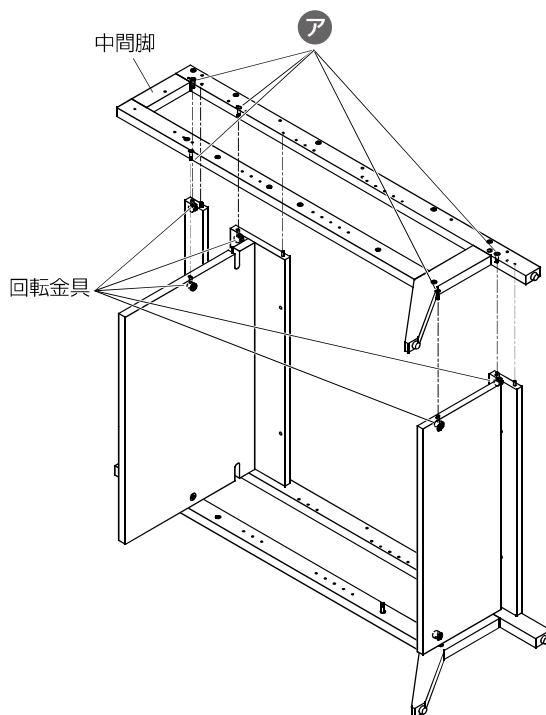
## 天板高さ1000mmの組立

1000H

3

### 中間脚の取付け

- ①図1で取付けた中間脚のアの片側連結ボルトを貫き材、天板、棚板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を右へ回し固定してください。(5カ所)



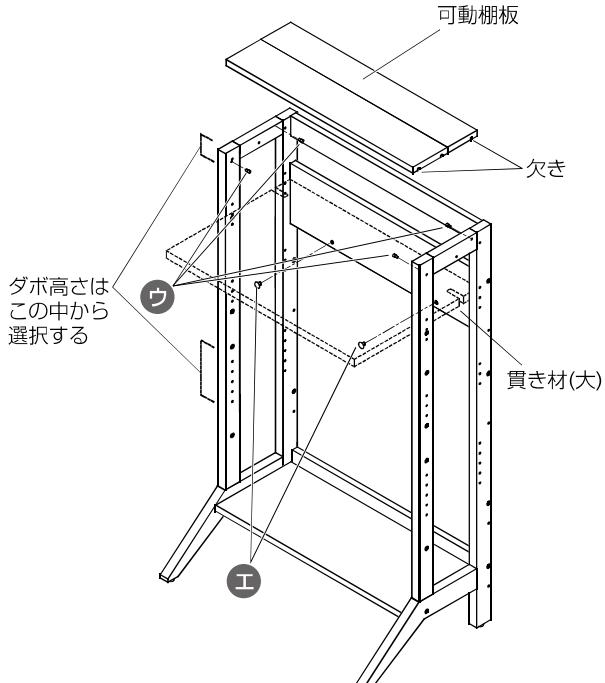
1000H

4

### 可動棚板の取付け

- ①脚の内々の任意の高さのダボ穴にウのダボ(4個)差込み  
その上に棚板の欠きを合わせるように設置してください。

- ②図の位置の貫き材(大)の穴に、工の穴埋め用キャップを  
2ヶ所取付けてください。



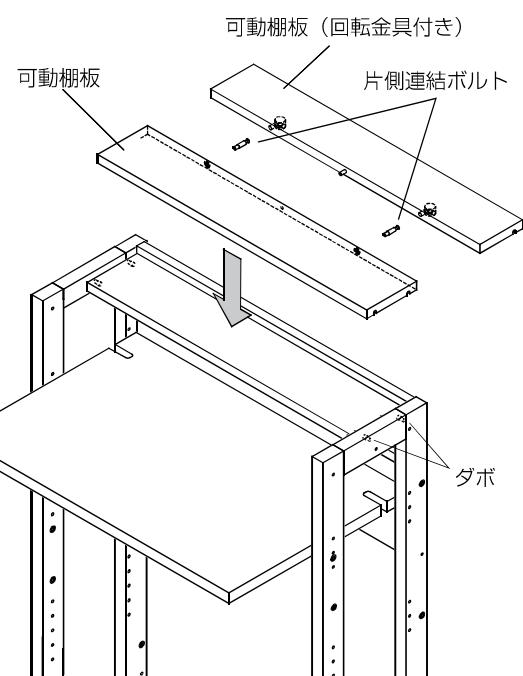
1000H

5

### 可動棚板の分割

ご使用状態に合わせ可動棚板を分割してご使用できます。

- ①回転金具を左へ回し、可動棚板を分割してください。  
②片側連結ボルトを外してください。  
③手前側のダボ位置を図の位置に取付けてください。  
※分割された可動棚板は最上段の位置にのみ取付けできます。  
④回転金具が付いていない方の可動棚板をセットしてご使用ください。  
※もう一枚の棚板及び片側連結ボルトは大切に保管してください。



⇒ P40、P41へ進む

# シェルフの組立

シェルフ

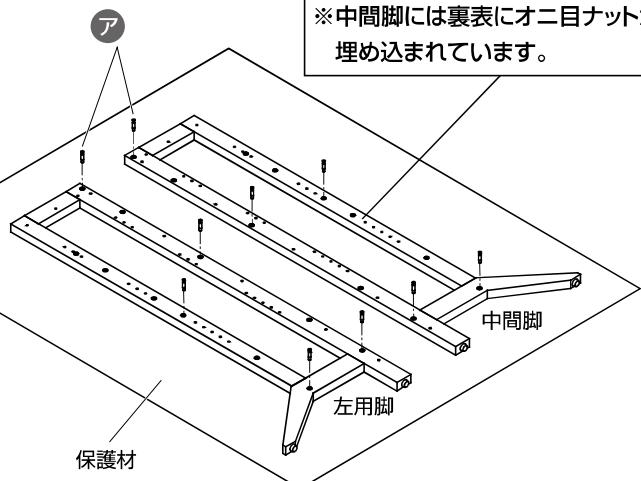
## 1 片側連結ボルトの取付

※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①養生した床の上にオニ目が上を向くように左右の脚を置き、⑦の片側連結ボルト(24mm)を各5ヶ所づつ図の位置に脚に取付けてください。

### Point [連結ボルトについて]

連結ボルトを鬼目ナットにねじ込む時は、締め込みすぎないように注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。 鬼目ナット



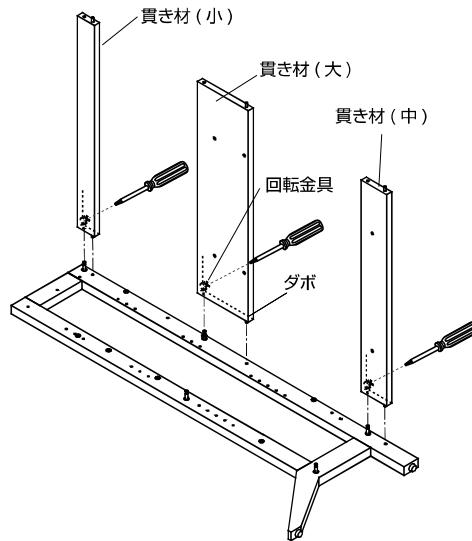
シェルフ

## 2 片側の脚への貫き材の取付

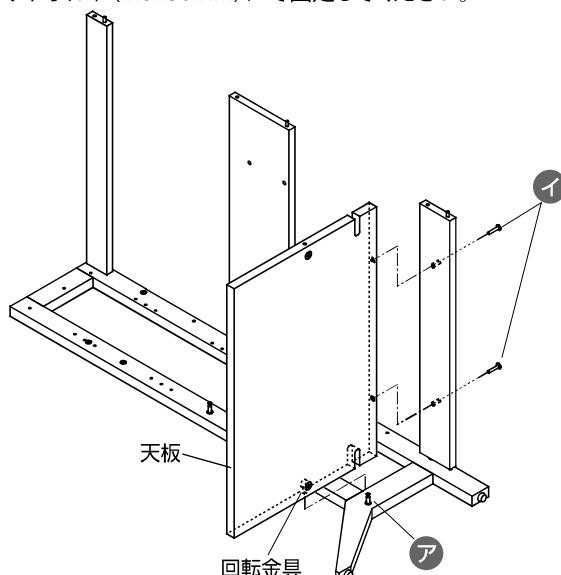
- ①片側の脚に回転金具が後方を向くように貫き材を図の位置に差込み、回転金具を回し固定してください。

### Point [回転金具について]

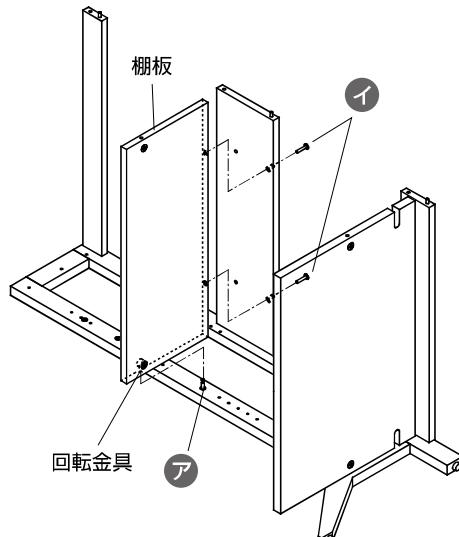
回転金具  
(部材に埋め込まれています)  
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。 矢印  
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り(外れ)ます。  
片側連結ボルト



- ②天板を⑦の片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(中)の後方より①のコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



- ③棚板を⑦の片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具を右に回して固定し、貫き材(大)の後方より①のコネクトボルト(M6X30mm)にて固定してください。



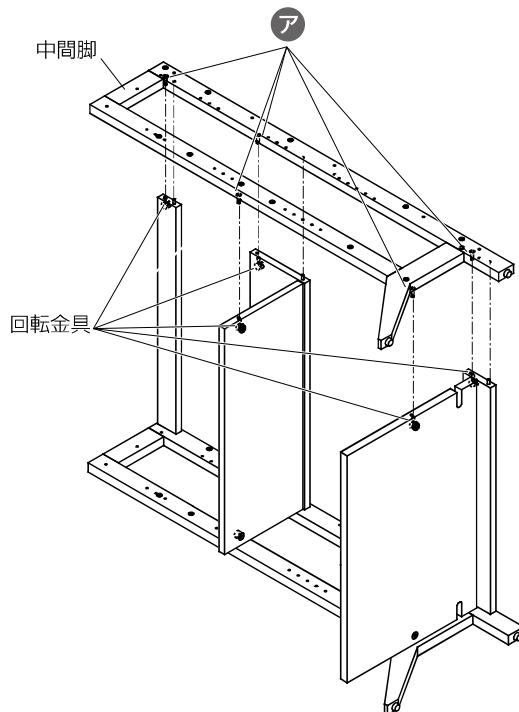
# シェルフの組立

シェルフ

3

## 中間脚の取付け

- ① ①で取付けた中間脚のアの片側連結ボルトを貫き材、天板、棚板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を右へ回し固定してください。(5力所)

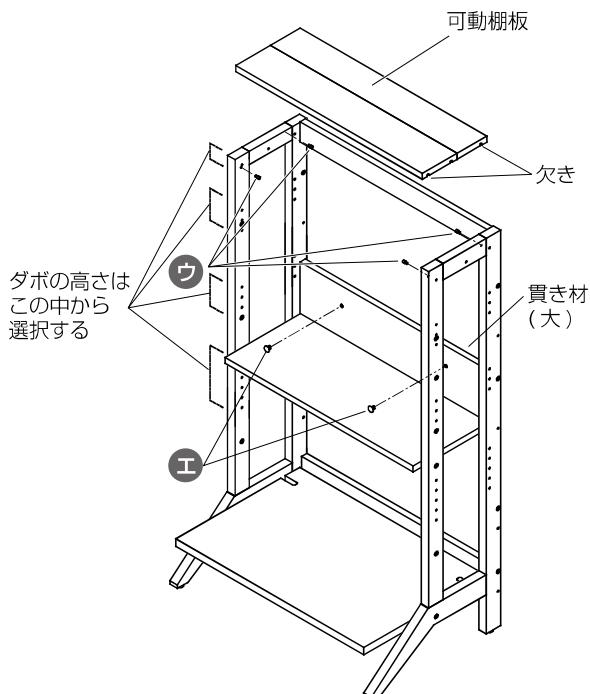


シェルフ

4

## 可動棚板の取付け

- ① 脚の内々の任意の高さのダボ穴に②のダボ(4個)差込み  
その上に棚板の欠きを合わせるように設置してください。  
② 図の位置の貫き材(大)の穴に、③の穴埋め用キャップを  
2ヶ所取付けてください。



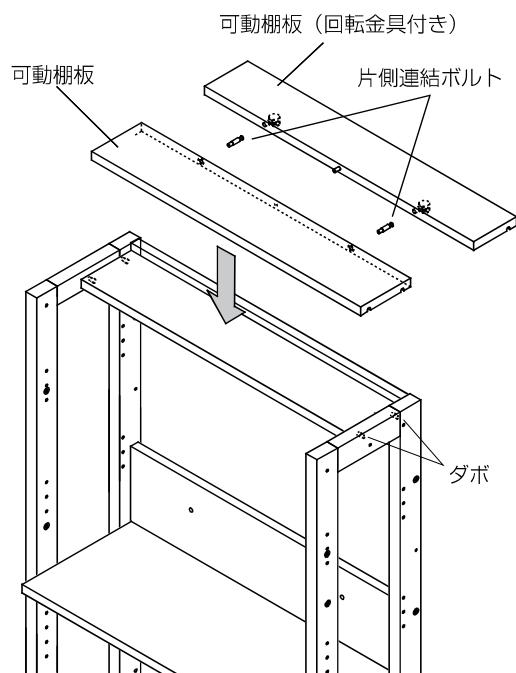
シェルフ

5

## 可動棚板の分割

ご使用状態に合わせ可動棚板を分割してご使用できます。

- ① 回転金具を左へ回し、可動棚板を分割してください。  
② 片側連結ボルトを外してください。  
③ 手前側のダボ位置を図の位置に取付けてください。  
※ 分割された可動棚板は最上段の位置にのみ取付けできます。  
④ 回転金具が付いていない方の可動棚板をセットしてご使用ください。  
※ もう一枚の棚板及び片側連結ボルトは大切に保管してください。



→ P40、P41へ進む

## 片開き収納棚の組立

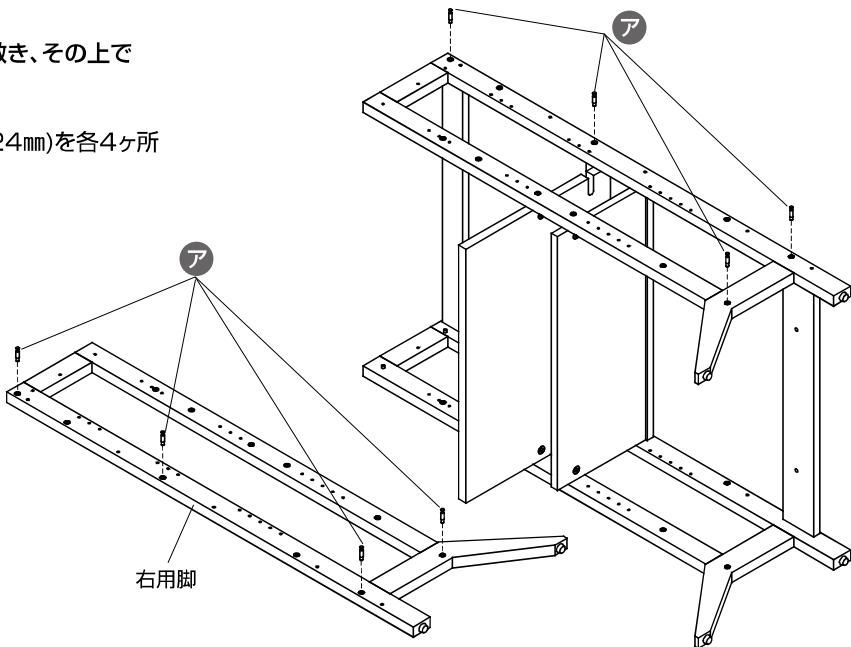
### 6 片開き収納棚組付け用片側連結ボルトの取付け

※部材を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で部品取付け作業を行ってください。

- ①右用脚中間脚にⒶの片側連結ボルト(24mm)を各4ヶ所ずつ取付けてください。

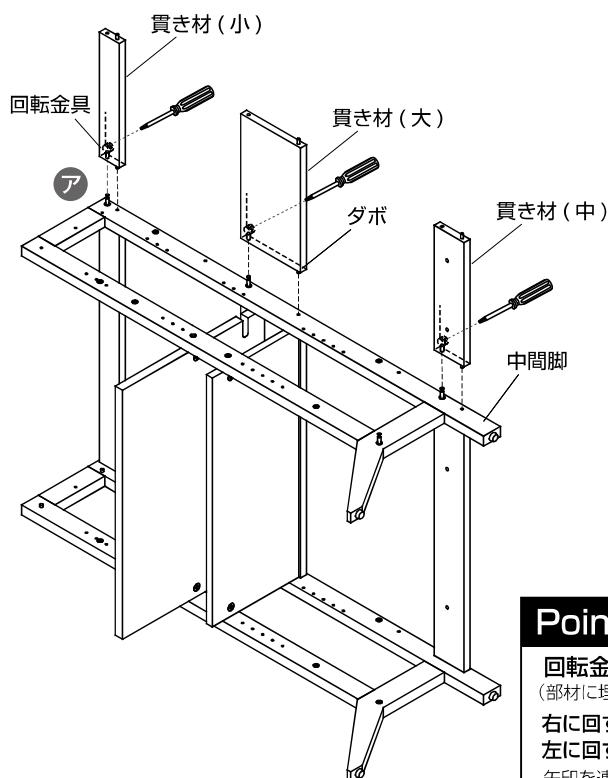
#### Point [連結ボルトについて]

連結ボルトを鬼目ナット片側連結ボルトにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。  
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。 鬼目ナット

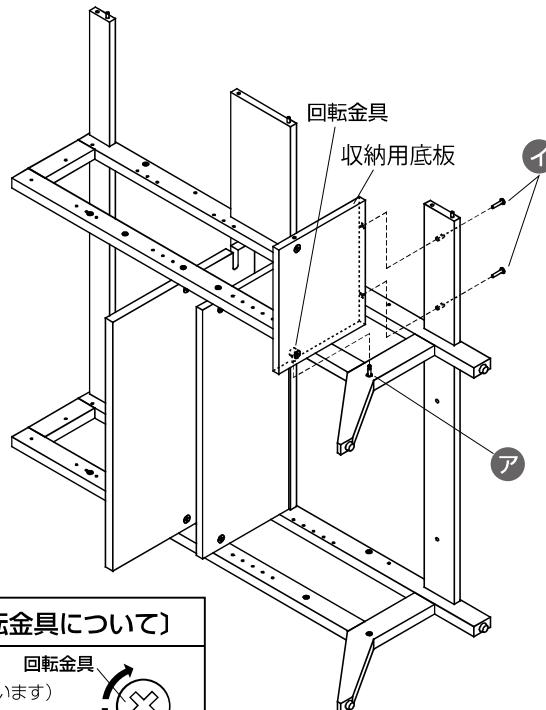


### 7 中間脚への貫き材・固定棚板・底板の取付け

- ①中間脚に回転金具が後方を向くように貫き材を差込み、回転金具を回し固定してください。(3カ所)



- ②収納用底板をⒶの片側連結ボルトに差込むように設置し回転金具と貫き材(中)の後方より①のコネクトボルト(M6×30mm)にて固定してください。



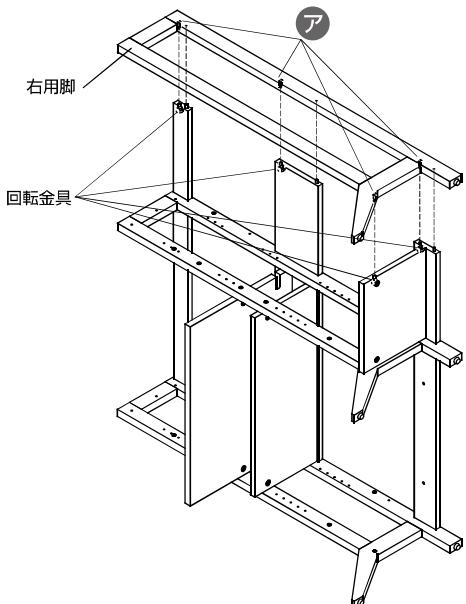
#### Point [回転金具について]

回転金具  
(部材に埋め込まれています)  
右に回すと締ります。  
左に回すと緩みます。 矢印  
矢印を連結ボルトの方に  
合わせると、連結ボルト  
が入り(外れ)ます。  
片側連結ボルト

## 片開き収納棚の組立

### 8 右用脚の取付け

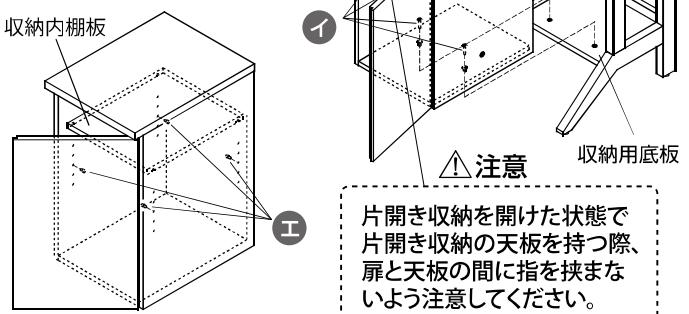
- ① ⑥で取付けた右用脚の⑦の片側連結ボルトを貫き材、固定棚板、底板の回転金具に差込むように設置し、回転金具を回し固定してください。



### 9 片開き収納の取付け

- ① 片開き収納を底板の上に載せ、収納内部より底面及び内側板上部より①のコネクトボルト(M6×30mm)にて固定してください。

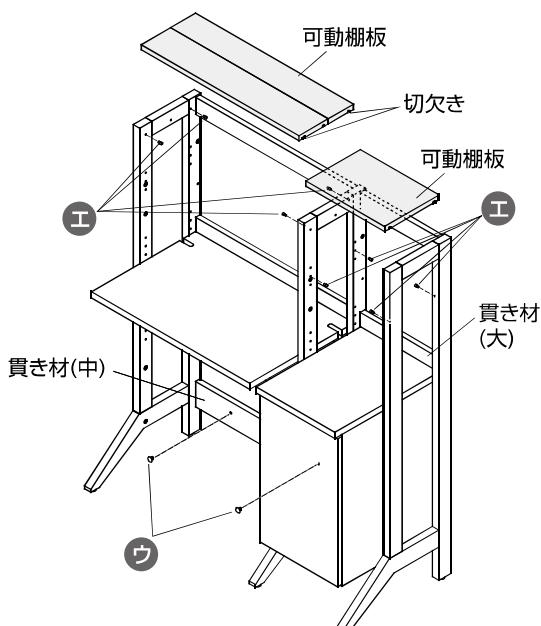
- ② 片扉き収納取付け後、扉を開け任意の高さに①の差込みダボ(4ヶ所)を取付け、収納内棚板を設置してください。



### 10 可動棚板の設置 及び 穴埋め用キャップの取付け

- ① 各脚の内々の任意の高さのダボ穴に①の差込ダボ(7mm)を差込み、その上に棚板の切欠きを合わせるように設置してください。

- ② デスクの貫き材(中)の穴に④の穴埋め用キャップを2ヶ所取付けてください。

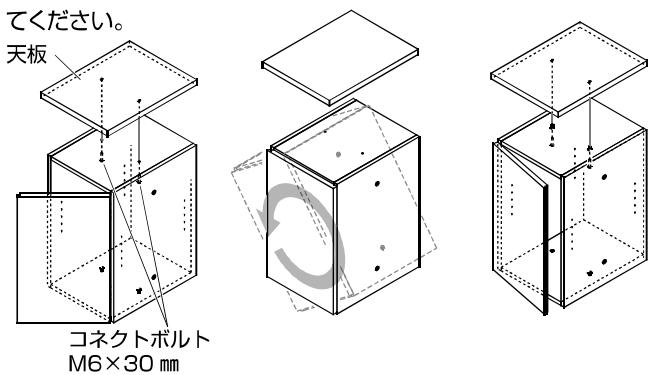


### 片開き収納の扉の開き方向は変更可能です

- ① 収納内部上面のコネクトボルト(M6×30mm)を取り天板を外してください。

- ② 収納筐体を上下反転してください。

- ③ 再度天板を載せ、外した作業の逆手順で取付けてください。



### 組替えを行う時

※組替えを行う時は、一度全ての可動棚板を取り外してください。

#### ● 天板の高さを替える場合

- ① デスク用天板と貫き材を脚から取外し、P4から順にデスク部分を組立ててください。

#### ● 片開き収納棚の左右を替える場合

- ① 一度全ての部品を取り外し梱包状態にもどして、P4から順に組立ててください。

## ■おかしいかな?と思ったら

Q 組立てがうまくいかない。  
部品が取付かない。

A 説明書の手順で組立てていますか?  
取付け部品の種類や向きが間違っていますか?

Q 木目や色が想像と違う。  
展示品や写真と違う。

A 木目や色がカタログ及び見本製品と  
違いが出る場合があります。

Q 部品が余ってしまった。

A 組立パターンにより、使用しない  
部品や部材が生じる場合があります。  
組替え時には必要になります  
ので大切に保管してください。

## ■製品廃棄について

不要になった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。

廃棄の際は法令に従った適切な廃棄処理をお願いいたします。ご不明な点はご相談ください。

## 修理と製品保証について

この度はオカムラ ヴィチーノシリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けしております。

万一保証期間内（一般社団法人 日本オフィス家具協会のガイドラインに基づく）に故障した場合は無料にて修理をさせていただきます。  
(お客様購入日よりの指定期間、不具合箇所・現象の例による。)

**修理は必ず本保証書を添えて、まず、お買い上げの販売店にお申し付けください。**

**所定記入の無い場合は、保証書と一緒に、ご購入先の領収書を保存しておいてください。**

## 保証書

保証期間	不具合箇所・現象の例			期間
	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色、レザー・クロスの磨耗		1年
	機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障		2年
	構造体	強度・構造体にかかる破損		3年
品名	デスク	品番	86NBAD/86NBBD/86NBCD	お買上日 年月日
おところ	販売店名			
お名前				

1. 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。

イ)組立て・取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかったことが原因での故障。

ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障。

ハ)お買い求めの販売店、もしくは当社以外での修理・改造などによる故障。

二)本書にお買い上げ年月日、販売店等、本保証書所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。

ホ)保証書の提示がない場合。

ヘ)消耗部品の交換。

ト)火災、塩害、異常電圧、地震、雷、風水害、その他天災地変などによる故障。

2. 運賃等の諸経費はお客様にご負担いただく場合があります。

3. 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。

4. 修理用部品の最低保有期間は、製品の製造中止後5年間とさせていただきます。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

尚、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

**OKAMURA**

株式会社オカムラ  
横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル  
<http://okamura.co.jp>

修理に関するご用命は

オカムラサポートアンドサービス

フリーダイヤル 0120-448-105

受付時間 24H 受付 (無休)

製品に関するご質問は

お客様相談室

フリーダイヤル 0120-81-9060

受付時間 9:00-17:20 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際、あらかじめ製品番号をご確認いただけますと、ご案内がスムーズです。